

平成17年度

所 報



宇都宮市瓦谷町1070番地

栃木県総合教育センター

目 次

1	運営の基本方針・運営の指針・事業の運営方針	1
2	総合教育センター職員	1
3	予 算 概 要	3
4	施 設 の 利 用 状 況	4
5	研 修 事 業	5
6	調 査 研 究 事 業	15
7	教 育 相 談 事 業	18
8	幼児教育センター事業	20
9	資料・情報の収集提供事業	24
10	研究・学習活動支援事業	27
11	教育充実振興事業	30
12	内地留学生研修実施状況	32
13	とちぎ県民カレッジの概況	34
14	講 師 一 覧	35

1 運営の基本方針・運営の指針・事業の運営方針

1 運営の基本方針

学校教育の充実を図る教職員研修の推進及び県民の生涯学習活動への支援そして、幼児教育の充実を図る事業の推進を中心とし、教育情報の提供、調査研究、教育相談等の充実を図り、もって学校教育並びに生涯学習の振興に資する。

2 運営の指針

- (1) 人間教育の充実と推進
- (2) 新しい時代の要請への研究と対応
- (3) 生涯学習活動の支援と推進

3 事業の運営方針

- (1) 各事業間の調和と統一が保たれるようにする。
- (2) 自主的、組織的、協働的に事業を推進する。
- (3) 関係機関と緊密な連絡をとるようにする。

2 総合教育センター職員

1 職員の現在数

(平成18年3月31日現在)

職 名	現 在 員	性 別	
		男	女
所 長	1	1	
次 長 兼 管 理 部 長	1	1	
部 長	5	3	2
主 幹	1	1	
部 長 補 佐	6	6	
副 主 幹	20	16	4
係 長	1	1	
指 導 主 事	22	14	8
社 会 教 育 主 事	4	3	1
主 査	2		2
主 任	3	1	2
主 事	1	1	
技 査	1	1	
小 計	68	49	19
教 育 研 修 研 究 専 門 員	5	5	
教 育 研 修 指 導 専 門 員	3	3	
教 育 研 修 研 究 調 査 員	3		3
生 涯 学 習 相 談 員	2	1	1
幼 児 教 育 セ ン タ ー 顧 問	1		1
幼 児 教 育 専 門 員	2	1	1
嘱 託 医	5	5	
臨 時 補 助 員	2		2
小 計	23	15	8
合 計	91	64	27

2 職員一覧

平成18年3月31日現在

部	職 名			氏 名			部	職 名			氏 名			
管 理 部	所 長			佐 藤 信 勝			研 究 調 査 部	部 長			藤 田 一 夫			
	次 長 兼 部 長			菅 谷 富 士 雄				主 幹			飯 田 宣			
	部 長 補 佐			相 馬 隆 幸				部 長 補 佐			杉 田 知 之			
	副 主 幹			大 藤 常 三				副 主 幹			大 網 信 祥			
	係 長			高 橋 久 男				〃			高 山 芳 樹			
	主 査			伊 藤 享 子				〃			小 森 祥 一			
	主 査			金 原 美 智 代				〃			小 口 公 正			
	主 任			村 井 み ち よ				指 導 主 事			矢 口 真 一			
	主 事			杉 原 篤				〃			吉 澤 正 光			
	技 査			腰 塚 政 美				〃			小 川 浩 昭			
	臨 時 補 助 員			永 山 弘 美				〃			羽 山 潔			
	部 長			星 野 英 俊				部	〃			吉 川 孝 昭		
生 涯 学 習 部	部 長 補 佐			小 鮎 一 明			〃			小 川 順 子				
	副 主 幹			船 山 光 隆			〃			宮 井 由 美				
	〃			大 出 忠 央			〃			後 藤 浩 明				
	社 会 教 育 主 事			林 博 子			主 任			八 木 沢 亜 由 美				
	〃			鈴 木 恵 治			〃			片 柳 修 一				
	〃			近 藤 正			臨 時 補 助 員			赤 羽 千 穂				
	〃			水 沼 誠			教 育 相 談 部		部 長			高 橋 み ゆ き		
	教育研修研究調査員			内 川 侑 子					部 長 補 佐			伊 澤 成 男		
	〃			本 田 桂 子					副 主 幹			加 藤 泰 男		
	生涯学習相談員			綱 川 信 一					〃			青 木 智 子		
	〃			加 藤 淑 江					〃			上 野 光 一		
	部 長			瓦 井 千 尋				〃			赤 上 純 子			
研 修 部	部 長 補 佐			皆 川 純 男				指 導 主 事			潮 田 裕 子			
	副 主 幹			杉 山 正 明				〃			中 田 誠			
	〃			佐 野 宏 夫				〃			梅 澤 圭 子			
	〃			小 林 武				〃			松 本 美 智 代			
	〃			田 上 富 男				幼 児 教 育 部	教育研修研究調査員			石 井 智 子		
	〃			日向野 勝					部 長			船 橋 か ず 子		
	〃			松 本 良 雄			部 長 補 佐			山 口 国 衛				
	〃			江 連 昌 宏			副 主 幹			田 渕 光 与				
	〃			阿 部 悦 子			指 導 主 事			永 井 弘 美				
	指 導 主 事			阿 久 津 浩			〃			鈴 木 智 恵				
	〃			中 山 観			顧 問			井 上 初 代				
	〃			植 木 淳			幼 児 教 育 専 門 員			廣 瀬 道 子				
〃			寺 田 滋			〃			小 堀 泉					
〃			名 塚 久 貴			研 修 研 究 専 門 員	教育研修指導専門員			人 見 孝 史				
〃			山野井 義 和				〃			小 林 哲 夫				
〃			根 本 い づ 美				〃			小 林 幸 正				
〃			若 林 直 行				教育研修研究専門員			鈴 木 孝 明				
							〃			柿 崎 龍 夫				
							〃			高 桑 正 克				
							〃			黒 子 昌 幸				
							〃			増 渕 茂 泰				

3 予算概要

(単位：千円)

事業名	平成16年度 予算額 A	平成17年度 予算額 B	対前年比 $B \div A \times 100$	備考
総合教育センター運営費	192,538	189,941	98.7%	
総合教育センター運営費	181,162	179,140	98.9%	
カリキュラムセンター運営費	1,341	1,216	90.7%	
情報システム運営費	8,345	7,982	95.7%	
情報教育推進事業費	1,690	1,603	94.9%	
総合教育センター事業費	48,078	42,191	87.8%	
初任者研修事業費	16,428	13,188	80.3%	
教職員研修費	16,560	16,733	101.0%	
新規採用養護教員・学校栄養職員研修費	275	316	114.9%	
調査研究費	9,207	7,197	78.2%	
教育相談事業費	1,436	1,317	91.7%	
教育充実振興費	4,172	3,440	82.5%	
教育調査統計費	2,872	2,949	102.7%	
教育課程実施状況調査データ処理	3,087			緊急雇用対策事業費
教育情報データベース化事業	3,176			緊急雇用対策事業費
事務局運営（営繕）費		36,981		外壁補修費
総務課計	249,751	235,081	94.1%	（外壁補修費除く）
幼児教育センター事業費	5,355	4,743	88.6%	学校教育課
指導者研修費	1,494	1,485	99.4%	
総合教育センター生涯学習研修費	1,494	1,485	99.4%	
生涯学習振興事業費	40,063	31,404	78.4%	
家庭教育事業費	19,160	19,589	102.2%	
生涯学習ボランティア活動促進事業費	652	1,546	237.1%	
とちぎ県民カレッジ推進事業費	18,057	9,690	53.7%	
情報活用能力向上事業費	270	165	61.1%	
視聴覚教育費	616	414	67.2%	
奉仕活動体験活動推進事業費	1,308		0.0%	生涯学習ボランティア活動促進事業に統合
生涯学習情報提供システム整備事業費	3,184	3,073	96.5%	
生涯学習情報提供システム運営費	3,184	3,073	96.5%	
生涯学習課計	44,741	35,962	80.4%	
環境学習推進事業費	482	315	65.4%	環境政策課
合計	300,329	276,101	91.9%	（外壁補修費除く）
総合計	300,329	313,082	104.2%	（外壁補修費含む）

※教育研修事業費及び初任者研修事業費は、センター執行分のみでなく予算総額である。

4 施設の利用状況

月 別 利用区分				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
研 修 等 に よ る 利 用				件数	24	45	64	56	47	39	39	49	16	21	14	6	420	
				人数	1,701	2,617	4,249	3,697	3,630	2,066	1,650	2,160	880	2,431	910	113	26,104	
貸 会 場	県関係機関の利用			件数	27	27	34	27	26	19	30	28	22	24	33	29	326	
				人数	2,234	3,009	4,106	3,208	6,639	2,246	2,933	4,044	2,981	2,557	7,839	2,654	44,450	
	教育関係・一般県民の利用	月曜日 金曜日	昼間	件数	6	7	9	10	14	7	13	10	5	8	10	4	103	
				人数	345	545	750	732	743	626	883	474	356	1,296	678	212	7,640	
		夜間	件数	3	3	6	6	7	11	3	8	6	8	8	12	81		
			人数	50	35	75	75	70	150	40	131	72	150	100	158	1,106		
		土 曜 日	件数	8	11	3	9	4	10	14	11	9	8	8	11	106		
			人数	398	933	200	1,228	73	279	984	996	619	624	875	741	7,950		
		日 曜 日	件数	6	7	15	8	4	7	11	5	4	2	6	7	82		
			人数	147	648	537	600	130	298	1,010	300	130	50	139	721	4,710		
		計	件数	23	28	33	33	29	35	41	34	24	26	32	34	372		
			人数	940	2,161	1,562	2,635	1,016	1,353	2,917	1,901	1,177	2,120	1,792	1,832	21,406		
	小 計				件数	50	55	67	60	55	54	71	62	46	50	65	63	698
					人数	3,174	5,170	5,668	5,843	7,655	3,599	5,850	5,945	4,158	4,677	9,631	4,486	65,856
	来 所 相 談	一 般 教 育 相 談			件数	46	102	117	131	97	135	149	163	143	133	136	164	1,516
					人数	57	131	139	155	122	161	169	181	166	151	159	174	1,765
障 害 児 教 育 相 談			件数	21	47	41	55	68	45	46	47	58	38	45	49	560		
			人数	47	101	87	116	146	95	95	94	122	81	96	107	1,187		
図 書 資 料 室				人数	432	407	806	897	649	507	614	576	412	404	376	357	6,437	
学 習 情 報 セ ン タ ー				人数	249	160	302	391	181	249	317	259	129	101	141	144	2,623	
カ リ キ ュ ラ ム セ ン タ ー				人数	32	52	34	28	39	27	25	22	7	17	13	7	303	
視 察 ・ 見 学				件数	0	2	1	0	2	2	1	3	0	0	3	2	16	
				人数	0	47	5	0	2	7	4	32	0	0	21	4	122	
と ち ぎ 県 民 カ レ ッ ジ				人数	0	0	312	262	118	335	227	118	0	0	0	0	1,372	
合 計				件数	141	251	290	302	269	275	306	324	263	242	263	284	3,210	
				人数	5,692	8,685	11,602	11,389	12,542	7,046	8,951	9,387	5,874	7,862	11,347	5,392	105,769	

5 研修事業

1 教員関係研修

基本研修

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
1	初任者研修 (小・中学校)	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・学習指導、学習評価 ・児童・生徒指導 ・学級経営 ・道徳教育 ・特別活動 ・課題研究 ・特別支援教育 ・総合的な学習の時間 ・福祉教育の理解、障害児教育 ・社会福祉施設における宿泊研修	25	221	5,525	221	5,494
2	初任者研修 (県立学校)	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・学習指導、学習評価 ・情報教育、教育機器 ・児童・生徒指導、 ・カウンセリング・マインド ・人権教育、国際理解教育 ・障害児教育の理解 ・進路指導、特別活動の指導 ・小中学校教育の理解 ・団体宿泊研修 ・メンタルヘルス	25	86	2,150	86	2,125
3	新規採用養護教員研修	・教職員への期待 ・教職員の服務と勤務 ・学校保健行政と養護教員 ・学校における安全教育の充実 ・健康診断と事後措置 ・保健室経営について ・伝染病の予防と管理 ・学校環境・衛生活動における諸検査 ・情報教育 ・特別活動の指導の在り方 ・特別支援教育の理解 ・カウンセリングの基礎	16	10	160	10	159
4	新規採用学校 栄養職員研修	・教職員への期待 ・学校職員の服務と勤務 ・学校給食の役割 ・学校給食の実務 ・献立を活用した食に関する指導 ・学校給食の衛生管理 ・人権教育 ・教育課程と学校給食 ・学校栄養職員が参画した授業	11	2	22	2	14
5	新規採用事務職員研修 (小・中学校)	・教職員への期待 ・教職員の服務と勤務 ・いじめや不登校の早期解決と予防 ・教職員の給与制度・給料・昇給・諸調査 ・給与・旅費・文書の実務 ・義務教育費国庫負担法 ・接遇	9	2	18	2	18

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
6	教職5年目研修 (小・中学校)	・5年目教職員への期待 ・人権教育の推進 ・心を育てる学級経営の在り方 ・各教科等の指導(1)(2) ・児童・生徒指導上の今日的課題への対応 ・学校における子どもの理解 ・今、教職員に求められるもの	4	54	216	54	208
7	教職5年目研修 (県立学校)	・5年目教職員への期待 ・人権教育の推進 ・学級・ホームルーム担任の実務 ・教科指導の在り方 ・生徒指導上の諸問題 ・学校における児童・生徒の理解 ・今、教職員に求められるもの	4	93	372	91	359
8	養護教員5年目研修 (小・中・県立学校)	・5年目教職員への期待 ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・5年目養護教員に、今求められているもの ・保健室経営のこれからの在り方 ・救急処置 ・健康相談活動 ・健康の保持増進と健康教育 ・保健指導・保健学習の進め方 ・保健室経営の課題と対応 ・特別支援教育の理解	4	7	28	7	25
9	事務職員5年目研修 (小・中学校)	・5年目教職員への期待 ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・学校事務職員の服務(法規演習) ・給与に関する実務(法規演習) ・学校事務職員の役割 ・年金制度、退職手当 ・児童・生徒指導の在り方 ・5年目事務職員の職務と研修	3	2	6	2	6
10	学校栄養職員5年目研修	・5年目教職員への期待 ・人権感覚を磨く教育活動の展開 ・子どもの心理とカウンセリング ・共同調理場の管理・運営 ・衛生管理の実際 ・衛生管理と栄養管理 ・食生活に関する個別指導 ・コンピュータの活用 ・教育課程と学校給食 ・学校栄養職員が参画した授業 ・委託給食の運営 ・食に関する指導計画の作成	4	2	8	2	8
11	教職10年目研修 (小・中学校)	・本県教育の現状と課題及び10年目教職員への期待 ・学級経営 ・地域における児童・生徒指導の在り方 ・道徳教育 ・社会体験等研修 ・教育関連法規 ・教科別分科会 ・課題研究 ・人権教育の推進 ・総合的な学習の時間 ・公開授業 ・選択研修 ・今、教育に求められるもの ・特別支援教育の対象となる児童生徒とその支援 ・異校種体験研修	15	156	2,340	152	2,272

番号	事業名	研修内容	日数	計 画		実 績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
12	教 職 10 年 目 研 修 (県立学校)	・本県教育の現状と課題 ・教科指導の工夫・改善 ・学習指導の指導・改善 ・公開授業 ・児童・生徒指導の意義とその在り方 ・学校における児童・生徒の理解 ・ロールプレイング ・児童・生徒に関する選択研修 ・人権教育の推進 ・教育関係法規 ・地域における児童・生徒指導 ・社会体験等研修 ・異校種体験 ・選択研修 ・課題研究 ・今、教育に求められるもの	15	91	1,365	90	1,350
13	養護教員10年目研修 (小・中・県立学校)	・10年目教職員への期待 ・学校目標と保健室経営 ・養護教諭の職務と課題 ・コンピュータの活用 ・人権教育の推進 ・特別支援教育の理解 ・教職員に対するメンタルヘルス ・健康相談活動 ・健康の保持増進と健康教育 ・保健指導・保健学習の進め方 ・保健室経営の課題と対応 ・救急処置 ・課題研究 ・地域における児童・生徒指導の在り方 ・社会体験等研修 ・今、教職員に求められるもの	10	17	170	17	167
14	事務職員10年目研修 (小・中学校)	・10年目教職員への期待 ・人権教育の推進 ・児童・生徒指導等の意義とその在り方 ・服務関係の事例（法規演習） ・学校事務職員の役割 ・学校組織マネジメントの基本と実践	3	11	33	11	33
15	教 職 20 年 目 研 修 (小・中学校)	・20年目教職員への期待 ・学校教育における人権教育 ・教職員のメンタルヘルス ・本県の義務教育の課題と今後の方向性 ・20年目教員に求められるもの ・教育関係法規 ・選択研修 ・学校のグランドデザインと私の仕事 ・校内研修活性化 ・児童・生徒指導の推進 ・人間関係づくり ・教育方法・評価の在り方 ・学習指導と教科の基礎・基本の在り方 ・学校組織マネジメント ・課題研修「校内実践研修」	4	300	1,200	285	1,115
16	教 職 20 年 目 研 修 (県立学校)	・教育の課題と20年目教職員への期待 ・学校教育における人権教育 ・教職員のメンタルヘルス ・本県教育の課題と今後の方向性 ・ミドルリーダーに求められるもの ・学校評価 ・選択研修 ・教育関係法規 ・20年目教員の役割 ・課題研修「教科指導・学習指導の充実」	4	114	456	114	443
基 本 研 修 計				1,168	14,069	1,146	13,796

専門研修 1 ア

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
1	新任免許外教科担任研修 (中学校)	- 各教科における指導の基礎・基本 - 評価の在り方 - 教材研究と授業の進め方 - 各教材の指導法 - 教科指導上の諸問題とその解決 - 模擬授業	3	70	210	57	156
2	産業教育基礎技術研修 (工業)	- 産業教育の現状と課題 - 機械加工の指導法 - 木工の指導法	2	6	12	6	11
3	産業教育基礎技術研修 (農業)	- 産業教育の現状と課題 - 農業実習の指導法 - 生徒の進路を意識した実習等の指導の在り方	2	5	10	5	9
4	産業教育基礎技術研修 (家庭)	- 産業教育の現状と課題 - 被服分野における実習の基礎	2	1	2	1	2
5	産業教育基礎技術研修 (商業)	- 商業技術の指導法 - 総合実践における実務処理の指導法 - 情報処理の指導法 - 原価計算の指導法	2	1	2	1	2
6	情報教育推進者研修 (小・中学校)	学習効果を高めるコンピューターや情報通信ネットワークの有効な活用の在り方	1	512	512	511	511
7	情報教育推進者研修 (県立学校)	- 本県における情報教育の現状と推進者の役割 - 情報セキュリティについて - 情報機器の活用法 - 本校における情報教育の推進 - 校内研修会の実施と課題	2	83	166	83	165
8	普通教科「情報」研修	- 指導計画の作成と実習等の取り扱い - 情報の収集・発信と情報機器の活用	3	40	120	41	117
9	小学校英語活動推進者養成研修	- 英語活動の基本理念 - 年間活動計画の構想、授業の構想 - 教材、教具の作成 - 模擬授業	4	80	320	83	332
10	英語教員研修 (中・県立学校)	- 英語教育に期待するもの - リスニングの指導法 - リーディングの指導法 - プレゼンテーション・スキル - ライティングの指導法 - 英語セミナーⅠ・Ⅱ - 評価の工夫 - 授業実践のアイデア - 模擬授業 - アクション・リサーチのすすめ	8	180	1,440	176	1,386
11	障害児教育新任担当教員研修 (小・中学校)	- 特殊学級、通級指導教室の経営 - 教育課程の編成と個別の指導計画の作成 - 子どもの理解とその方法 - 就学指導の現状と課題	4	60	300	77	303
12	盲・聾・養護学校 新任教員研修	- 障害児理解と保護者の心理 - 個別の指導計画の作成について - 学習指導上の課題	2	20	40	8	16
13	地域特別支援 教育推進者研修	- 特別支援教育の体制整備 - 巡回相談員の役割 - 組織・チームでの問題解決の進め方 - 個別の指導計画 - 学習面、生活面の指導と支援 - 保護者との連携・協力	5	61	305	53	260
14	特別支援教育 コーディネーター研修	- 校内委員会の運営 - LD・ADHD・高機能自閉症の理解 - 外部機関との連携協力 - 心理教育検査の活用 - 個別の指導計画作成 - コーディネーションとチーム援助	6	207	1,242	182	1,062

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
15	自閉症教育推進者研修	・TEACCHプログラムによる指導(1) ・TEACCHプログラムによる指導(2) ・自閉症児の指導	3	28	84	28	84
16	職業教育推進者研修	・職業教育の現状と課題 ・本校における職業教員の実践 ・今後の職業教育の在り方	2	26	52	26	52
17	幼稚園・保育所・ 小学校教職員相互 職場体験研修	・教育課程及び指導について ・組織と業務分担、担任の役割について ・幼児・児童の安全管理について ・人権に配慮した教育について ・TTの工夫、指導案の作成について	3	178	534	177	531
専門研修 1 ア 計				1,558	5,351	1,515	4,999

専門研修 1 イ

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
1	トップセミナー (小・中学校)	・これからの教員評価の方向性 ・信頼される学校づくりと教員の資質向上 ・教員の評価と指導の在り方	1	600	600	587	587
2	校長研修 (県立学校)	・信頼される学校づくりと教員の資質向上 ・本県の教員評価 ・教員評価と指導の実践について	1	83	83	81	81
3	新任校長研修 (小・中学校)	・新任校長への期待 ・人権教育の現状と課題 ・私の学校経営 ・学校経営と教育関係法規 ・学校経営上の諸問題 ・特別支援教育 ・学校経営ビジョンの実現に向けて	2	101	202	101	196
4	新任校長研修 (県立学校)	・新任校長への期待 ・生涯学習の観点に立った学校教育の在り方 ・人権教育の現状と課題 ・学校経営に関する諸問題 ・学校における危機管理 ・県立学校の課題と学校経営 ・企業等経営者に学ぶ	3	20	60	20	58
5	学校経営研修 (小・中学校)	・特別支援教育の進め方 ・学校教育相談を生かした学校経営 ・学校教育相談を生かした学校経営の実践 ・学校における組織マネジメント	2	77	154	77	151
6	学校経営研修 (県立学校)	・学校経営の課題 ・学校教育の課題と教頭のリーダーシップ ・教職員のメンタルヘルスケア ・学校における組織マネジメント	3	39	117	39	115
7	新任教頭研修 (小・中学校)	・今、学校に求められるもの ・人権教育の現状と課題 ・新任教頭への期待 ・危機管理と教育法規 ・教頭の職務とその実際 ・信頼される学校づくりと教頭の役割 ・特別支援教育と校内体制づくり	2	95	190	95	190
8	新任教頭研修 (県立学校)	・新任教頭への期待 ・変革の中の学校・教師が当面する諸問題 ・教頭の職務と当面する諸課題①② ・学校経営における教頭の役割 ・開かれた学校づくりと学校評価 ・本県の人権教育 ・生徒指導の充実と教育相談の在り方 ・執務上の諸問題	3	27	81	27	81

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
9	新任教務主任研修 (小・中学校)	・教務主任の職務とその実際 ・新任教務主任への期待 ・学校組織マネジメント ・学校管理・運営上の諸課題と関係法規 ・今日的教育課題への対応	2	67	134	67	134
10	新任教務主任研修 (県立学校)	・県立学校の諸課題 ・教務主任の職務 ・教育関係法規 ・人権教育の現状と課題 ・新教育課程実施上の課題	3	23	69	23	69
11	学習指導主任研修 (小・中学校)	・学習指導主任の職務と役割 ・学習指導の現状と課題 ・確かな学力を育むための学習指導の在り方 ・学習指導の充実を図るための実践 ・これからの学習指導の在り方	2	80	160	80	160
12	新任学年主任研修 (高等学校)	・学年主任の職務 ・学年経営の計画・運営 ・本校における学年経営 ・学年経営上の課題解決に向けて ・学年主任のリーダーシップ	2	65	130	65	129
13	新任学習指導主任研修 (県立学校)	・学力向上フロンティアハイスクールにおける学習指導部の取組 ・学習指導の現状と課題 ・学習意欲・学力向上に向けての学習指導部の取組 ・学習指導の充実に向けて ・生徒の主体的な学習を促すシラバス ・『総合的な学習の時間』の充実を目指して ・学校評価における学習指導の評価 ・個別の指導計画について ・これからの学習指導の在り方	2	38	76	38	75
14	新任生徒指導主事研修 (県立学校)	・生徒指導主事の職務 ・学校適応指導 ・保健室における教育相談 ・組織的な指導体制の在り方 ・生徒指導部の校内組織と年間計画	2	20	40	21	40
15	新任進路指導主事研修 (県立学校)	・進路指導主事の職務 ・本校における進路指導 ・進路指導の現状と課題 ・進路学習の改善策 ・これからの進路指導	2	30	60	25	49
16	新任進路指導主事研修 (中学校)	・進路指導の意義と進路指導主事の職務 ・本校における進路指導の取組 ・進路指導上の諸問題 ・進路指導の現状と課題 ・キャリア教育の推進に向けて	2	60	120	47	93
17	人権教育研修	・本県の人権教育の在り方 ・人権教育の視点 ・現地研修 ・人権啓発資料の作成 ・障害者の人権問題 ・学校における人権教育の在り方	4	26	104	26	101
18	新任事務長研修 (小・中学校)	・新任事務長への期待 ・本県の人権教育の現状 ・本県の実施策 ・学校管理運営上の諸問題と教育関係法規 ・学校教育の課題と事務長の役割 ・学校組織マネジメントの理解と実践 ・学校経営に果たす役割と責任	2	4	8	4	8
19	新任係長級学校栄養職員研修	・共同調理場の管理・運営 ・衛生管理の実際 ・衛生管理と責任者の役割 ・教育課程と学校給食 ・本校の食に関する指導について ・学校栄養職員が参画した授業	2	3	6	3	6
専門研修 1 イ 計				1,458	2,394	1,426	2,323

専門研修 2

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
1	学校図書館研修 (小・中学校)	・これからの学校図書館の在り方 ・学校図書館と司書教諭の役割 ・学校図書館と学習指導の工夫・改善	1	70	70	51	51
2	学校図書館研修 (県立学校)	・学校図書館の活性化 ・これからの学校図書館と司書教諭の果たす役割 ・情報化への対応 ・読書推進のために	1	50	50	35	35
3	理科実験指導研修 (小学校)	・火の扱い、危険防止について ・気体の発生について ・天体について ・電気について ・植物について	1	120	120	58	58
4	産業教育専門研修 (農業科)	・科目「環境科学基礎」における環境の調査と実験実習 ・バイオテクノロジーと環境保全型農業 ・景観の調査法 ・化学的な環境の調査法	2	15	30	6	12
5	産業教育専門研修 (工業科)	・CAD/CAMを用いたマイコンカーのフレーム設計 ・マイコンカーに搭載するプリント基板の設計、製作	2	5	10	7	14
6	産業教育専門研修 (商業科)	・新会計基準への対応 ・マルチメディアの活用 ・自作パソコンの作製	2	10	20	9	18
7	産業教育専門研修 (家庭科)	・衣食住と生活文化 ・環境教育の視点からの被服分野の指導 ・フードデザインとフードコーディネート	2	15	30	20	37
8	環境教育研修 (小・中・県立学校)	・環境教育実践に向けて ・環境測定の実際 ・環境学習を実践して ・新しい環境教育の展開	3	24	72	24	68
9	情報教育研修 (教材作成基礎)	・学習指導におけるマルチメディア教材の活用と開発について ・マルチメディア素材の収集と加工 ・マルチメディア教材の作成 ・開発した自作教材の授業への効果的な利用について	3	60	180	42	121
10	情報教育研修 (教材作成応用)	・マルチメディア素材の収集と加工 ・マルチメディアWeb教材の作成	3	22	66	22	65
11	ネットワーク研修	・ネットワークの設定 ・ネットワークの応用	2	60	120	60	120
12	実習助手研修	・教職員への期待 ・教職員の服務 ・実習助手の職務 ・人権教育 ・各分野に分かれての講話・実習	3	11	33	11	31
13	学校教育相談 基礎研修	・学校教育における教育相談の役割 ・事例研究の進め方 ・カウンセリング基礎演習 ・子どもの成長と理解の視点	4	40	160	24	89
14	学校教育相談 実践研修Ⅰ (事例研究)	・問題行動の理解と対応 ・事例研究 (1)不登校 (2)子どもの気持ちを考える (3)発達障害 (4)児童期・青年期の精神病理 (5)非行	4	80	320	53	253
15	学校教育相談 実践研修Ⅱ (カウンセリング演習)	・カウンセリング演習	4	60	240	60	238
16	学校教育相談 実践研修Ⅲ (授業と学級経営)	・授業と教育相談 ・学校経営と教育相談 ・授業と学級経営 ・学級で生かす構成的グループ・エンカウンター、 アサーション・トレーニング ・学級経営に生かす診断尺度 ・授業実践事例研究 ・Q-U事例研究	5	60	300	59	287

番号	事業名	研修内容	日数	計画		実績	
				実人員	延人員	実人員	延人員
17	学校教育相談専門研修	・学校教育相談の機能と実際 ・カウンセリング演習 ・コンサルテーションの考え方・進め方 ・教師に望まれる援助サービス ・学校におけるコーディネーションとチーム援助	5	40	200	37	183
18	自立活動研修1 (見ること)	・見ることを支援する ・見ることの支援の実際	2	36	72	35	67
19	自立活動研修2 (からだのうごき)	・感覚統合理論による指導の実際	2	36	72	45	86
20	WISC-Ⅲ実技研修	・WISC-Ⅲの概要 ・下位検査の実施方法 ・採点演習 ・結果の解釈	2	30	60	30	58
			2	30	60	30	60
21	田中ビネー知能検査 実技研修	・田中ビネー知能検査の概要 ・下位検査の実施方法 ・採点演習 ・結果の解釈	2	30	60	16	32
			2	16	32	16	32
22	K-A B C実技研修	・K-A B Cの概要 ・下位検査の実施方法 ・採点演習 ・結果の解釈	2	16	32	16	32
			2	16	32	17	34
23	LD・ADHD・高機能 自閉症等のある 教育支援研修	・校内委員会の運営 ・LD・ADHD・高機能自閉症等の理解と支援 ・外部機関との連携	3	100	300	124	364
24	障害の重い子どもの ための教育支援研修	・嚥下障害と摂食指導 ・障害の重い児童・生徒の指導の実際	2	28	56	16	32
25	自閉症のある子どもの 教育支援研修	・TEACCHプログラムによる指導(1) ・TEACCHプログラムによる指導(2)	2	60	120	49	98
専門研修 2 計				1,124	2,885	956	2,543

専門研修 3

事業名	研修内容	日数	計画		実数	
			実人員	延人員	実人員	延人員
土曜開放講座	「語ろう、国語教室の実際」外40講座	6	500	500	393	393
教職員サマーセミナー	「学校組織マネジメント入門」外29講座	30	400	400	440	440
S P P による教員研修	「教員のための発生生物学講座」外4講座	15	100	300	105	277
教科自主研修 (県立学校)	・教科指導に関する課題	1				
計			1,000	1,200	938	1,110

教育関係研修合計			6,308	25,899	5,981	24,771
----------	--	--	-------	--------	-------	--------

2 生涯学習関係研修

番号	事業名	研修内容	対象者	日数	計画		実績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	女性教育指導者研修	・自分らしく生きる ・男女共同参画社会の実現に向けて ・カウンセリングのポイント ・活躍する女性リーダー ・女性の視点でのまちづくり ・グループ研究	市町村において女性団体の指導的立場にある方、女性学級・家庭教育学級その他の学習グループにおける指導的立場の方	9	70	630	47	402
2	家庭教育オピニオンリーダー研修	・家庭教育に求められるもの ・思春期の子どもたち ・カウンセリングの基礎～実際 ・子育ては今、その現状と課題 ・地域の家庭教育支援の実際 ・家庭教育支援事業の企画 ・家族はどこへ	地域において家庭教育の振興に携わっている方 家庭教育振興に関する活動への意欲を持っている方	10	100	1,000	47	414
3	生涯学習ボランティアコーディネーターセミナー	・生涯学習とボランティア ・ボランティアコーディネーターの実際 ・子どもの居場所 ・ボランティアに関する支援 ・コーディネーターの視点を生かしたボランティア講座・研修の立案	ボランティア活動グループ・関心のある方 生涯学習ボランティアセンター登録者 社会教育関係団体の指導者 社会教育関係職員 教員等	5	50	250	38	156
4	生涯学習ボランティア活動交流会	・広がれボランティアの輪！元気な地域をつくろう ・ボランティア活動の充実・発展のために ・ランチパーティー「参加者の輪を広げよう！」 ・ともに学び、ともに育み、ともに未来を拓くボランティア活動	ボランティア活動グループ・関心のある方 生涯学習ボランティアセンター登録者 社会教育関係団体の指導者 社会教育関係職員 教員等	1	100	100	131	131
				1	100	100	101	101
5	青少年地域リーダーセミナー	・ゲームで自己紹介 ・体験活動のプログラムについて ・子どもたちの心をつかもう ・センター開放事業への参画 ・興味を引き出す支援について ・なす高原自然の家オープンデーへの参画	青年団体・グループのリーダー 県・市町村青少年教育関係職員 県内在住の青年・大学生・高校生等	8	50	400	35	126
6	情報モラル指導者研修	・子どもを取り巻く情報社会の現状 ・私の周りの情報モラル ・ネット利用のルールとモラル ・子どもを守る情報モラルのあり方 ・青少年のインターネット、携帯電話等の利用について	県・市町村社会教育関係職員 青少年施設職員 PTA関係者 青少年健全育成団体関係者 教職員 情報ボランティア等	2	40	80	36	60
7	生涯学習推進初任者研修	・生涯学習を推進する行政職員への期待 ・生涯学習推進センターの役割 ・生涯学習・関係答申等からみる生涯学習推進の動向 ・生涯学習推進における行政職員の役割 ・これからの市町村の役割と生涯学習の展望 ・生涯学習関係事業展開へのスキルアップ	県・市町村で新任及び新規の生涯学習・社会教育担当職員で1年未満の経験者の方 生涯学習の推進に関心のある県民	2	100	200	75	132
8	生涯学習推進セミナー	・地域教育支援コース	県・市町村等の社会教育関係職員等	3	40	120	32	43
		・特色ある学校づくり支援コース	教職員、社会教育主事有資格者等	3	50	150	117	211
9	人権教育指導者専門研修	・本県の人権教育のあり方 ・人権教育の視点 ・参加型学習から学ぶ人権教育 ・子どもの人権を考える ・現地研修と研究協議 ・プログラム立案のポイント ・共に生きる社会づくりをめざして	県・市町村の人権教育担当職員 社会教育関係職員 教職員等	7	40	280	30	188

番号	事業名	研修内容	対象者	日数	計画		実績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
10	社会教育主事等 実践フォーラム	・新たな社会教育の創造 ・地域再生と社会教育主事	社会教育主事 ふれあい学習課職員 市町村職員 青少年教育施設職員	1	80	80	65	65
11	ビデオ教材 制作研修	・視聴覚教材制作と著作権について ・ビデオ作品の企画・構成のポイント ・ビデオ撮影の基礎・基本 ・ビデオ編集の基本操作 ・ビデオ編集の実際	県・市町村の社会教育関係職員 教職員	3	20	60	29	77
12	16ミリ映写機技術 指導者研修	・16ミリ講習会の企画・運営について ・16ミリ映写機の構造・操作等 ・16ミリ映写機の操作実習	県・市町村等の社会教育関係 職員 県教育委員会が特に認めた者	1	20	20	10	10
生涯学習関係研修合計					860	3,470	793	2,116

6 調査研究事業

学校教育関係及び生涯学習関係各方面の要請や実情に基づき、学校教育の内容や方法等及び生涯学習の在り方や支援の方法等の改善充実を図るため、各種の調査研究を実施した。

1 基本方針

- ・教育行政上の基礎資料となる調査及び調査研究を行う。
- ・当面する教育課題を的確にとらえて、指導に役立つ調査研究を行う。
- ・生涯学習推進の基礎資料となる調査研究を行う。
- ・幼児教育や家庭教育に係る今日的な課題について調査研究を行う。
- ・他の教育機関における調査研究活動との連携を図る。

2 事業内容

	研究主題及び主管部	研 究 内 容	調 査 期 間
1	未来を担う子どもの心を育てる調査研究 (研究調査部)	「栃木の子どもをみんなで育てよう運動」の中に示されている「人に迷惑をかけることは『ダメ』と言おう」に関連する意識調査を行い、児童生徒の規範意識や実際の行動の様子、保護者の意識や家庭でのしつけ等について把握した。調査結果を分析・考察し、子どもたちの基本的生活習慣の確立や規範意識の向上のための教師用資料を作成し、各小・中・県立学校と関係機関に配付するとともに、Web発信した。 ○「子どもの生活に関する調査ー子どもの規範意識を高めるためにー」(3月)	平成17年4月 ～ 平成18年3月 新 規
2	栃木の子どもの学力向上を図る授業改善の在り方に関する調査研究 (研究調査部)	平成16年度に実施した教育課程実施状況調査の調査結果から学習指導上の課題を明らかにするとともに、その課題解決の一助とするため、学習指導の改善プランを作成し、各小・中・県立学校と関係機関に配付するとともに、Web発信した。 ○「栃木の子どもの学力向上を図る授業改善プランー平成16年度教育課程実施状況調査の結果を踏まえてー」小学校(国、社、算、理)、中学校(国、社、数、理、英) Vol. 1 (5月) ○同 Vol. 2 (9月) ○同 Vol. 3 (1月)	平成17年4月 ～ 平成18年3月 新 規
3	高等学校における教科指導の充実に関する調査研究 (研究調査部)	生徒一人一人の基礎・基本の確実な定着を図るための授業改善を目指して、研究協議や授業実践を通し、評価の観点の踏まえた教科指導の在り方について研究した。研究の成果を教師用資料としてまとめ、各県立学校と関係機関に配付するとともに、Web発信した。 ○国語科：「『書くこと』の指導の工夫」(3月) ○地理歴史科：「歴史的事象を多面的・多角的に考察させる日本史の授業」(3月) ○数学科：「数学の理解と定着を図るための教材開発と授業実践」(3月) ○外国語科(英語)：「4技能の有機的な関連を図った指導の在り方ー『書くこと』に焦点を当ててー」(3月)	平成17年4月 ～ 平成18年3月 新 規
4	総合的な学習の時間のカリキュラムに関する調査研究 (研究調査部)	平成15年12月の学習指導要領一部改定に明確に示された「各教科、道徳及び特別活動と総合的な学習の時間との有機的な関連を図る」というねらいに視点をあてた学習指導の参考資料を作成し、各小学校と関係機関に配付するとともに、Web発信した。 ○「実りある『総合的な学習の時間』の実現のためにー実践から学ぶ指導の充実とカリキュラムの改善ー」(3月)	平成17年4月 ～ 平成18年3月 新 規
5	中高連携を図るキャリア教育の推進に関する調査研究 (研究調査部)	社会や職業に対する理解、「生きること」や「働くこと」と向き合う態度などの育成を促す中・高段階のキャリア教育の学習プログラムに関する参考資料を作成し、各中・県立学校と関係機関に配付するとともに、Web発信した。 ○「キャリア教育の視点を生かした進路指導の工夫・改善に関する参考資料ー勤労観・職業観を育てるためにー【中学校・高等学校編】」(3月)	平成17年4月 ～ 平成18年3月 新 規

	研究主題及び主管部	研 究 内 容	調 査 期 間
6	学校経営の在り方に関する調査研究 (研究調査部)	小・中学校における学校評価の実践事例を分析して、評価を生かして学校を活性化させる方策を明らかにするとともに、それらの成果を普及させ各学校の学校評価の取組の充実を図るための参考資料を作成し、各小・中・県立学校と関係機関に配付するとともに、Web発信した。 ○「学校評価に関する参考資料（小・中学校編）－信頼される『開かれた学校』づくりを目指して－」（3月）	平成17年4月 ～ 平成18年3月 新 規
7	授業実践力向上の支援システムに関する調査研究 (研究調査部)	より質の高い授業実践をするための教材や指導案などの教育情報を整備し、その活用法について研究してきた。5か年計画の5年目となる平成17年度は、画像・動画を含む指導案や実践事例をデジタルコンテンツとして収集・登録し、活用できる支援システムの構築を図るとともに、Web発信した。	継 続
8	情報通信ネットワークを活用した教材提供システムの開発とその活用の調査研究 (研究調査部)	情報通信ネットワークを活用して学習教材を提供していく学習情報データベース「わくわくとちぎ発見」を再検討し、さらに使いやすいものに再構築するとともに、新たな教材を追求し学習に役立つ学習データベースを作成し、Web発信した。	継 続
9	情報教育推進のための校内研修カリキュラム及び研修教材の開発に関する調査研究 (研究調査部)	すべての教員がコンピュータを活用した指導ができることを目指し、5か年計画により、校内研修で活用できる有効な研修カリキュラム及び研修教材の開発にあたった。本研究の5年目となる平成17年度は、小学校の「算数」、中学校と高等学校の「数学」を対象として、各校種において研究を行い、成果物をWeb発信した。	継 続
10	インターネットを用いた在籍、在宅での教員研修のコンテンツ開発に関する調査研究 (研究調査部)	インターネットを主としたIT技術を利用し、校内研修及び在宅研修を効果的に行うためのいくつかの研修モデルを開発しWeb発信した。	継 続
11	教育に関する各種統計調査 (研究調査部)	本県及び国の教育に係る各種統計調査（県単6、文部科学省3、計9）を実施し、教育行政、教育施策の検討及び指導のための基礎資料を作成・配付した。 ○県単調査 ①中学校卒業生の進路状況調査（5月1日現在） ②県立高等学校卒業生の進路状況調査（5月1日現在） ③全日制高等学校生徒の他県との交流調査（5月1日現在） ④公立学校教員構成調査（5月1日現在） ⑤新年度児童・生徒数、学級数見込み調査（9月1日現在） ⑥中学校3年生の進路希望調査（10月1日、12月1日、1月8日現在） ○文部科学省調査 ⑦地方教育費調査（教育費調査） ⑧ 〃 （教育行政調査） ⑨社会教育調査 [報告書・刊行物] ○「平成17年度県立高等学校卒業生の進路状況調査報告書」（7月） ○「平成17年度中学校卒業生の進路状況調査報告書」（7月） ○「とちぎ教育のしおり」（9月） ○教育調査報告書第164号「栃木県公立学校教員構成調査」（9月） ○「平成16年度栃木県の教育」（11月） ○「平成18年度小中学校児童・生徒数、学級数見込み調査報告書」（11月） ○「平成17年度中学校3年生の進路希望調査報告書」（11月、12月、1月） ○教育調査報告書第165号「地方教育費調査」（2月） ○「教育行政資料要覧」（3月）	継 続

	研究主題及び主管部	研 究 内 容	調 査 期 間
12	学校支援ボランティアに関する調査研究 (生涯学習部)	学校と地域がより積極的に連携を図りながら教育活動を充実することをねらいとした学校支援ボランティアをいっそう推進していくために、活動の実態を調査し、事例を収集・研究しながら、効果的な学校支援ボランティア活動の展開方策について提言した。 ○「学校支援ボランティアに関する調査研究」報告書として作成、各小学校・中学校・高等学校・盲聾養護学校・ボランティア関係機関等に配付 ○「研究紀要」にて報告 ○栃木県教育研究発表大会で発表 ○栃木県学習情報提供システム「とちぎレインボーネット」にて、Web発信した。	平成17年4月 ～ 平成18年3月 新 規
13	知的障害養護学校における自閉症児の指導内容・方法の在り方に関する調査研究 (教育相談部)	知的障害と自閉症を併せ有する児童生徒に対し、二つの障害の違いを考慮しつつ、障害の特性に応じた適切な指導を展開するための指導内容・方法等の在り方について研究した。その成果を紀要に掲載して、各小・中・県立学校と関係機関に配付するとともに、Web発信した。	継 続
14	盲学校のセンター的機能の充実に関する調査研究 (教育相談部)	盲学校のセンター化を推進させることを目的に、センター的機能の中核である相談・学習支援機能の開発に取り組んだ。 研究の成果を紀要に掲載して、各小・中・県立学校と関係機関に配布するとともに、Web発信した。	継 続
15	幼児教育に関する調査研究 (幼児教育部)	幼稚園における学校評価の在り方を明らかにするとともに評価表を作成し、それらの成果を普及させ幼稚園の学校評価の取組の充実を図るため、その成果を紀要に掲載して、各幼・保・行政機関に配付するとともに、Web発信した。	継 続

7 教育相談事業

障害児並びに教育上の問題や悩みを持つ幼児・児童・生徒及び保護者等に対し、問題点を明確にするとともに、一人一人に適切な指導・助言を行い、幼児・児童・生徒の適正な養育、就学及び健全な人格形成に資するよう努めた。

1 障害児教育相談実施回数

番号	障害別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	視 覚 障 害	1	1	1	(1) 2		1	1	1		1		1	(1) 10
2	言 語 ・ 聴 覚 障 害	(1) 5	6	(1) 4	(1) 9	(2) 6	4	(2) 5	(1) 6	11	4	6	4	(8) 70
3	肢 体 不 自 由	1		2						1				4
4	病 弱 ・ 虚 弱													
5	重 複 障 害		(1) 1				1			1			1	(1) 4
6	知 的 障 害	1	(3) 5	2	(3) 6	(1) 6	7	(1) 5	(1) 6	(2) 7	7	(2) 8	(1) 2	(14) 62
7	情 緒 障 害	(3) 11	(7) 28	(3) 26	(2) 27	(6) 42	(4) 25	(3) 34	(5) 32	(3) 33	(4) 24	(1) 29	(5) 35	(46) 346
8	そ の 他	(2) 2	(4) 6	(3) 6	(5) 11	(6) 14	(6) 7	(1) 1	(2) 2	(3) 5	2	2	(5) 6	(37) 64
計		(6) 21	(15) 47	(7) 41	(12) 55	(15) 68	(10) 45	(6) 46	(9) 47	(8) 58	(5) 38	(3) 45	(11) 49	(107) 560
延 べ 来 談 者 数		47	101	87	116	146	95	95	94	122	81	96	107	1,187

() 内は新規

2 一般教育相談実施回数

番号	障害別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	不 登 校	(4) 32	(17) 68	(8) 82	(8) 81	51	(8) 76	(4) 80	(9) 93	(2) 76	(5) 77	(5) 80	(3) 84	(73) 880
2	集 団 不 適 応	5	(1) 17	(7) 24	(6) 38	(3) 32	(2) 36	(5) 43	(5) 45	(6) 44	44	(2) 35	(4) 49	(41) 412
3	非行および同傾向												(1) 9	(1) 9
4	家 庭 内 暴 力		(2) 2							(1) 1				(3) 3
5	無 気 力													
6	怠 学													
7	性 格					(2) 3	1	2		2		(1) 3		(3) 11
8	神 経 症 ・ 同 疑		2			(1) 1	(1) 3	(2) 8	(1) 6	3	1	2		(5) 26
9	緘 黙	1	(1) 2	(1) 3	1	4	4	5	(1) 10	7	7	7	9	(3) 60
10	チ ッ ク													

番号	障害別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
11	夜 尿			2	2		4	2	2	2				14
12	情 緒 不 安 定	(3) 5	(2) 6	3	(2) 7	(2) 5	(3) 8	(1) 3	3	3		(2) 3	8	(15) 54
13	学 業 問 題	1	(1) 4	3	2	1	2	(2) 6	4	5	(1) 4	(1) 5	4	(5) 41
計		(7) 44	(24) 101	(16) 117	(16) 131	(8) 97	(14) 134	(14) 149	(16) 163	(9) 143	(6) 133	(11) 135	(8) 163	(149) 1,510
延 べ 来 談 者 数		55	126	139	155	122	159	169	181	166	151	157	173	1,753

() 内は新規

3 障害児巡回相談

事 業 名	内 容	対 象	備 考
障 害 児 巡 回 相 談	障害児教育に対する正しい理解を図り、児童・生徒一人一人の障害の状態等に応じた適正な就学ができるよう、巡回しての就学相談、資料の作成と提供を行った。	市町村教育委員会教育長から依頼された 幼児・児童・生徒	9 /13 佐野市 14件
			9 /28 那須塩原市 13件
			10/ 5 栃木市 1件
			10/12 真岡市 8件
			10/17 矢板市 5件
			10/19 宇都宮市 2件
			10/26 今市市 6件
			計 49件

8 幼児教育センター事業

幼児教育行政の中核的施設として、幼稚園・保育所・小学校間の連携と相互理解を図りながら、豊かな人間性や「生きる力」の基礎を培うとともに、幼児期から学童期への円滑な成長と幼児期にふさわしい教育環境の整備を目指し、幼児教育センターの基本方針に基づき各種の事業を実施した。

1 基本方針

- (1) 教育・保育の質の向上（研修・相談）
- (2) 情報の提供
- (3) 調査研究
- (4) 幼稚園・保育所・小学校連携の推進
- (5) 家庭教育への支援

2 研修・相談

(1) 研 修

番号	事業名	研修内容	対象者	日数	計 画		実 績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	幼・保・小教職員 合同研修	(1)中央研修 ・幼児・児童・生徒指導の基本方針 ・「幼児期における判断力」	幼・保・小教職員 各市町村教育・保育行政 担当者等	1	全園・全校 (961)		595	595
		(2)地区別研修 ・幼児期から学童期にかけての学びの連続性 ・研究協議		3			644	644
2	幼・保・小教職員 相互職場体験研修	・教育課程及び指導について ・組織と業務分担、担任の役割について ・幼児・児童の安全管理について ・人権に配慮した教育について ・TTの工夫、指導案の作成について ・その他	幼・保・小教職員、その他	事前1	178	178	178	178
				体験2	178	356	178	356
3	トップセミナー (園長等管理運営 セミナー)	・保育者の専門性と同僚性 ・幼児期における特別支援教育	幼・保の管理者	1	538	538	105	105
4	保育研究協議会	・幼児の発達過程と環境の構成 ・実践事例による研究協議 ・幼児の活動と教師のかかわり	幼・保、盲・聾学校幼稚 部の教職員	2	38	76	38	76
				1	全園 (541)		106	106
5	特別支援教育研修	・指導上特に配慮が必要な幼児の理解と対応 ・講話とワークショップ ・グループ別協議	幼・保の教職員	2	190	190	271	271
6	家庭教育支援 セミナー	・子育ての現状と課題 ・グループ協議 ・家庭教育支援の在り方	県民 幼・保・小教職員	1	40	40	16	16
7	幼稚園新規採用 教員研修会	・学校教育における幼児教育の役割 ・幼稚園における人権教育 ・園児の安全管理 ・幼稚園教諭の心構え ・公開保育・保育研究 ・指導計画作成の基本 ・週・日案の作成 ・野外活動、実践研修等 ・公開保育・保育研究 ・事例研究 ・指導上の諸問題について	幼稚園新規採用職員	9	238	2,142	238	1,862
8	幼稚園教職 10年経験者研修	・今日的課題への対応 ・講義 ・演習 ・事例研究 ・研究発表 ・その他	教職経験11年目の教員	9	30	270	25	225
幼児教育関係研修合計					2,932	5,292	2,394	4,434

(2) 教職員に対する教育相談

幼稚園・保育所等からの要請に応じ、保育研究アドバイザー（指導主事及び幼児教育専門員等）を派遣し、教育内容や教育課程に関すること、幼稚園・保育所・小学校の連携に関すること、家庭教育に関すること等への相談、援助を行った。また、教職員等からの教育上の問題や悩みについての相談に応じ、課題の解決、不安解消への援助を行った。

ア 保育研究アドバイザー派遣件数

番号	派遣先	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼稚園		1 (200)	1 (10)	8 (656)			4 (19)	3 (36)	4 (280)	3 (56)	2 (51)	3 (121)	1 (1)	30 (1,430)
2	保育所			2 (120)	2 (128)	1 (18)		5 (331)	2 (128)	1 (70)			1 (50)	4 (200)	18 (1,045)
3	教育委員会その他			2 (90)	1 (30)	3 (160)		2 (32)	5 (142)	1 (27)	1 (6)	3 (160)	1 (7)	2 (72)	21 (726)
計			1 (200)	5 (220)	11 (814)	4 (178)		11 (382)	10 (306)	6 (377)	4 (62)	5 (211)	5 (178)	7 (273)	69 (3,201)

() 内は対象者

内容等：「子育てについて」「食育について」「子どもの発達について」「環境」「家庭教育の中での子どものしつけ・ほめ方・しかり方」「しつけについて」「幼・保・小の連携」「園内研修」その他

イ 教育相談実施件数

番号	区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	来所相談		2	1				1					1	1	6
2	電話相談		5	2	2	1	3	7	1	2	5	1	3		32
計			7	3	2	1	3	8	1	2	5	1	4	1	38

内容等：「幼稚園の選択について」「障害を持つ幼児の受け入れについて」「満3歳児の入園について」「乱暴な子どもへの対応について」「幼稚園の給食について」その他

3 情報提供

幼児教育に関する教材ビデオ等を整備し、研修等各方面での活用を図るとともに、幼児教育に関する各種情報や県における事業展開等をホームページにおいて提供した。

(1) 教材ビデオの活用・ホームページによる情報提供

区 分	内 容	備 考
ビデオライブラリー	・新規整備：12本 ・研修用ビデオ「チケット作ってきたんだけど」他	貸出 10件23本 活用 4件5本
幼児教育センターホームページ	幼児教育センター事業案内、こどもQ&Aその他 URL http://www.tochigi-c.ed.jp/youji/	アクセス件数 3,335件

(2) 交流の場（保育サロン）の開催

- ア 期 日：平成17年5月28日、7月9日、9月3日、10月15日、11月19日（計5回開催）
- イ 参 加 者：幼稚園・保育所・小学校の教職員等
- ウ 開催場所：総合教育センター、宇都宮大学附属幼稚園、呑竜幼稚園（佐野・私立）、
ナーサリースクール・とまつり（宇都宮・民間）
- エ 内 容：保育参観、保育研究等

(3) 国公立幼稚園代表者会議の開催

ア 期 日：平成17年 5月23日

イ 参 加 者：国公立幼稚園関係者 10園 11名

ウ 内 容：国及び県の幼児教育関係施策・指針の伝達、各園の情報交換等

4 調 査 研 究

(1) 幼稚園・保育所・小学校連携調査研究委員会

事 業 名	テ ー マ ・ 内 容 等	委 員	備 考
幼 児 教 育 調 査 研 究 委 員 会	「幼稚園における学校評価の在り方」について調査研究を行い、その結果を幼・保・小連携推進会議で報告し、各幼稚園・保育所に配布した。	幼稚園・保育所の 代表者等 8名	・第1回委員会 6月15日開催 ・第2回委員会 7月21日開催 ・第3回委員会 11月9日開催 ・第4回委員会 1月24日開催

(2) 家庭における幼児教育の実態調査

研 究 主 題	研 究 内 容	対 象	備 考
家 庭 に お け る 幼 児 教 育 の 実 態 調 査	テーマ：「習い事」について 「幼稚園・保育所」について	幼稚園・保育所に 通う3歳から5歳 の子をもつ保護者	調査：年2回実施 結果は幼児教育センターで発行 した家庭教育広報誌にて公表

5 幼・保・小連携の推進

(1) 幼稚園・保育所・小学校連携推進会議

事業名	内 容	委員・参集者等	備 考
幼稚園・保育所・小学校 連 携 推 進 会 議	幼児教育センター事業、実施状況及び 栃木県幼児教育振興プログラム（第2 期）について他	関係各課、幼稚園・保育所・ 小学校の代表者等（委員数19名）	2月6日開催

(2) 幼・保・小連携推進事業

事業名		目的	実施形態			委託内容	
幼・保・小連携推進事業		各市町村における幼稚園・保育所と小学校との連携推進体制を整備するため、各地域の特性を生かした事業の実践・開発をはかり、もって地域における幼稚園・保育所と小学校との連携・接続を図った幼児教育の一層の充実に資する。	市町村への委託（４市町） 上河内町、市貝町、馬頭町（那珂川町）、佐野市 委託期間：１年			下記のとおり	
委託事業			委託市町村	上河内町	市貝町	馬頭町 （那珂川町）	佐野市
指定事業	①市町村における行政、幼稚園、保育所、小学校の連携推進組織の設置・運営		◎	◎	◎	◎	
	②市町村内における幼稚園、保育所、小学校のネットワーク化（連絡・使送体制）		◎	◎	◎	◎	
選択事業	①幼稚園・保育所と小学校職員の相互理解のための保育・授業の相互参観の開催		○		○	○	
	②幼稚園・保育所と小学校職員の相互理解のための合同研修等の開催		○	○	○	○	
	③幼稚園・保育所と小学校の幼児・児童の交流活動（生活科授業、校内行事等）			○	○	○	
	④幼稚園・保育所と小学校の幼児・児童の地域との交流事業（体験農業、その他）						
	⑤幼稚園・保育所と小学校の保護者の交流事業（講演会、家庭教育学級等）						
	⑥幼稚園・保育所と小学校間における情報提供、交換のシステム化（連絡票等）			○			
	⑦小学校から幼稚園・保育所への情報提供事業（学校だより等の配布等）		○				
	⑧児童相談所、養護学校、民生委員・児童委員等との連携						
	⑨障害児（LD等）への対応事業						
	⑩幼・保・小間の教育の一貫性を見通した教育課程・保育計画の改善						
	⑪その他幼・保・小連携推進のための事業					○	
	⑫幼児教育振興プログラム（振興計画）のための事業						

6 家庭教育への支援

幼児教育及び家庭教育に関する適切な情報を、幼児教育センターからの広報誌等により幼稚園・保育所の教員を介して各家庭に提供し、家庭教育の充実を図るとともに保護者への啓発や子育て支援等を行った。

(1) 刊行活動

刊行活動	部 数 等	配 布 先	主 な 内 容
家庭教育広報誌「おうち」	平成17年10月・ 平成18年2月発行 各89,000部	各幼稚園、保育所等を通じ、3歳から 5歳の子を持つ保護者及び教職員、そ の他関係機関等	第7号：「習い事」 第8号：「幼稚園・保育所」

(2) 保育研究アドバイザーの派遣（再掲）

幼稚園・保育所等からの要請に応じ、保護者等を対象に保育研究アドバイザー（指導主事及び幼児教育専門員等）を派遣し、家庭教育に関すること等への相談及び援助を行った。

9 資料・情報の収集提供事業

教育関係職員の教育活動及び研修や生涯学習に関する学習活動・学習相談及び研修を進める上に必要な資料・情報を提供するため、機能の拡大に努めた。

1 広報活動

刊 行 活 動	内 容	発 行 回 数 等
要 覧 (平成18年度)	総合教育センター事業計画、内容、事務分掌、施設、設備等の概要	年 1 回発行 18年 3 月 部数 1,300部
所 報 (平成17年度)	平成17年度の総合教育センター事業等の実績	年 1 回発行 18年 3 月 部数 1,200部
紀 要 第13号	・所員の研究の成果をまとめたもの ・調査研究の成果をまとめたもの	年 1 回発行 18年 3 月 部数 1,200部
とちぎ教育のしおり (平成17年度)	県教育行政の組織・予算・決算の状況、児童・生徒数及び教員構成、社会教育施設の状況等	年 1 回発行 17年 9 月 部数 25,000部
教育行政資料要覧 (平成17年度)	県教育行政全般にわたる基礎的統計資料及び各種資料	年 1 回発行 18年 3 月 部数 500部
栃木県の教育 (平成16年度)	平成16年度の県教育行政施策の実績等	年 1 回発行 17年11月 部数 1,050部

アクセス件数

区 分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総合教育センターホームページ ア ク セ ス 件 数	5,238	10,613	8,879	7,774	10,131	6,496	8,363	8,506	7,441	8,140	7,405	5,452	94,438

2 資料・情報の提供

(1) 図書資料室

ア 図書資料等の提供状況

事 業 名	内 容	方 法
図書資料等の提供	・教育・生涯学習に関する図書資料、教育資料、教育雑誌等の収集、整理、保管及びその活用 ・教育・生涯学習に関する相談及び照会に対する情報の提供 ・『総合的な学習の時間』に関する資料及び情報の提供	貸出し、閲覧

イ 利用状況

番 号 \ 区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1 来 客 者 数	432	407	806	897	649	507	614	576	412	404	376	357	6,437
2 貸 出 ・ 資 料 提 供	251	318	509	377	357	157	329	273	236	212	154	87	3,260

※ 当センター職員の利用も含む

(2) 学習情報提供

ア 学習情報提供システム

事業名	内 容	対 象	備 考
学習情報提供システム 「とちぎレインボーネット」	インターネットを活用し、 県民や生涯学習行政担当者に、 生涯学習に関する情報を提供するとともに、 24時間、学習相談を受け付ける。	一般県民 生涯学習関係団体 生涯学習行政担当者等 学校教育関係者	http://www.rainbow-net.pref.tochigi.jp

イ アクセス件数

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
レインボーネットアクセス件数	1,627	1,791	1,894	2,027	1,700	1,612	1,604	1,521	1,692	1,895	2,090	2,359	21,812

(3) 学習相談

ア 学習相談

事業名	内 容	対 象	備 考
学 習 相 談	県民のニーズにあった学習機会や指導者の紹介等、生涯学習に関する相談を実施する。 ・相談事例 市民大学の受講生が自主活動をしているところを紹介してほしい。 薬物乱用防止について話してくれる講師を紹介してほしい。	一般県民 生涯学習関係団体 生涯学習行政担当者等 学校教育関係者	

イ 学習相談件数

番号 \ 月	区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	学 習 機 会	33	41	77	46	48	70	41	34	19	11	46	34	500
2	施 設				2		2	1						5
3	団体・グループ									1				1
4	指 導 者	3	4	11	3	6		2	1		6	3	4	43
5	教 材	25	67	55	64	54	47	77	93	65	44	36	19	646
6	各 種 資 格			1										1
7	学習プログラム												1	1
8	情 報 源	18	11	13	8	11	9	9	5	3	7	8	11	113
9	そ の 他													
計		79	123	157	123	119	128	130	133	88	68	93	69	1,310

(4) 視聴覚センター

ア 視聴覚教材教具の貸出

事業名	内 容	対 象	備 考
視聴覚教材用具の貸出	16mmフィルム、ビデオ等視聴覚教具の収蔵貸出しをする。	各学校・教育団体関係 サークル・行政機関等	

イ 視聴覚教材教具利用件数

番号	月 情報	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	フ イ ル ム ・ ビ デ オ テ ー プ	14	70	48	51	40	28	38	45	30	31	23	5	423
2	機 材		12	1	4	5	6	6	3	2	4	6	7	56
計		14	82	49	55	45	34	44	48	32	35	29	12	479

(5) 栃木県生涯学習ボランティアセンター

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相 談 件 数		80	77	168	236	66	70	120	60	77	53	68	59	1,134
登 録 件 数		団体241件 個人 376件												

(6) カリキュラムに関する支援

ア カリキュラムセンター

事業名	内 容	対 象	備 考
カリキュラムに関する支援	カリキュラムに関する調査研究、情報の収集・整理、情報発信、コンサルティング等を行い、県内の各学校及びその他の各教育機関、県内の各教育関係団体における教育活動の支援を行った。	県内の各学校及びその他の各教育機関、県内の各教育関係団体	

イ 利用者数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利 用 者 数		32	52	34	28	39	27	25	22	7	17	13	7	303

ウ アクセス件数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ホームページアクセス件数		1,786	2,022	3,645	5,430	7,234	4,157	6,350	5,264	3,759	4,677	3,508	2,782	50,614

(7) 幼児教育センター

ア アクセス件数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ホームページアクセス件数		296	297	325	259	295	272	396	259	250	316	288	326	3,579

10 研究・学習活動支援事業

教育研究団体が当面している教育に対する諸問題の研究や生涯学習関係団体の学習活動について、その推進が図られるよう援助協力した。

1 教育関係団体等への会場提供

番号	種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	小 学 校 教 育 研 究 会					1				1				2
2	中 学 校 教 育 研 究 会					1			1		1			3
3	高 等 学 校 教 育 研 究 会	1	2	2	2	4	1	2	2	1	3	4	1	25
4	生 涯 学 習 団 体	3	3	3	2		2	3	3	1	1	3	1	25
5	そ の 他	46	50	62	56	49	51	66	56	43	45	58	61	643
計		50	55	67	60	55	54	71	62	46	50	65	63	698

2 要請に基づく援助（講師派遣件数）

番号	種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼 稚 園	1	1	8			4	3	4	3	2	3	1	30
2	保 育 所		2	2	1		5	2	1			1	4	18
3	小 学 校	13		13	9	6	10	15	4	10	3	10		93
4	中 学 校		2	17	2	2	6	2	5	3		2	1	42
5	高 等 学 校		3	2	2			1	7	6	1		2	24
6	盲・聾・養護学校				1	4			1	1	2	2	2	13
7	都 道 府 県	2	2	10	6	4	4	1	8	5	4	3		49
8	県 内 市 町 村		1		2				2			2		7
9	生涯学習関係団体	1	2		1	1	1	1		1			1	9
10	小 学 校 教 育 研 究 会					8		1	10	1	1			21
11	中 学 校 教 育 研 究 会		1	3		1		2	2		1			10
12	高等学校教育研究会	2	7	9	2	4	6	7	7	6	5	5		60
13	そ の 他	4	24	37	22	56	21	44	26	22	31	17	6	310
計		23	45	101	48	86	57	79	77	58	50	45	17	686

※ 1～7：要請による訪問等

8～11：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

[内訳]

ア 生涯学習部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	都 道 府 県		2	2	10	6	4	4	1	8	5	4	3		49
2	県 内 市 町 村			1		2				2			2		7
3	団 体		1	2		1	1	1	1		1			1	9
4	そ の 他								2	3			1		6
計			3	5	10	9	5	5	4	13	6	4	6	1	71

イ 研 修 部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	小 学 校					1	1	3	5				4		14
2	中 学 校				6	1		2							9
3	高 等 学 校				1					2					3
4	盲・聾・養護学校														
5	小学校教育研究会						1								1
6	中学校教育研究会			1						1					2
7	高等学校教育研究会		1	3	6	1	4	3	1	5	3	4	4		35
8	そ の 他		2	2	7	1	9	1	9	2	2	6	3		44
計			3	6	20	4	15	9	15	10	5	10	11		108

※ 1～4：要請による訪問等

5～8：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

ウ 研究調査部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	小 学 校		12		4	1	1	1	2	1		1			23
2	中 学 校			1	6	1		2		2					12
3	高 等 学 校			2						2	5			2	11
4	盲・聾・養護学校														
5	小学校教育研究会						5			8	1	1			15
6	中学校教育研究会				3		1		1	1		1			7
7	高等学校教育研究会		1	4	2	1		3	3	2	2	1	1		20
8	そ の 他			6	10	2	11		9	8	2	14	3	1	66
計			13	13	25	5	18	6	15	24	10	18	4	3	154

※ 1～4：要請による訪問等

5～8：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

エ 教育相談部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	小 学 校		1		9	7	4	6	8	3	10	2	6		56
2	中 学 校			1	5		2	2	2	3	3		2	1	21
3	高 等 学 校			1	1	2			1	3	1	1			10
4	盲・聾・養護学校					1	4			1	1	2	2	2	13
5	小学校教育研究会						2		1						3
6	中学校教育研究会								1						1
7	高等学校教育研究会				1				3		1				5
8	そ の 他		2	14	19	16	36	18	19	12	17	8	9	3	173
計			3	16	35	26	48	26	35	22	33	13	19	6	282

※1～4：要請による訪問等

5～8：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

オ 幼児教育部

番号	種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1	幼 稚 園		1	1	8			4	3	4	3	2	3	1	30
2	保 育 所			2	2	1		5	2	1			1	4	18
3	そ の 他			2	1	3		2	5	1	1	3	1	2	21
計			1	5	11	4		11	10	6	4	5	5	7	69

※1～2：要請による訪問等

3：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

11 教育充実振興事業

教職員の資質の向上、児童生徒の研究意欲の高揚及び生涯学習の振興に資するため、各種の事業を実施した。

1 教 養 講 座

番号	講 座 名	内 容	期 日	講 師	演 題	参加人数	会 場
1	公開講座 ライフ アップ セミナー	生涯学習関係研修の中から社会における様々な諸問題を多面的な見地からとらえ、考えていこうとする学習機会を提供した。	5/18 / 2/26 26回	・共に生きる社会づくりを考える ・ボランティアについて考える ・共に育む家庭・社会を考える		218人	総合教育 センター
2	教育相談 特別講座	突然キレて怒りに支配された行動を取ってしまう子をどう理解し、どのように援助したらいいか考える機会を提供した。	8/12	児童・生徒指導推進室 指導主事 丸茂 博 栃木県警察本部生活安全部 少年課 少年補導員 吉川 純代 那須塩原市児童生徒サポ ートセンター 副主幹 岩間 寛行 東京学芸大学 助教授 大河原 美以	シンポジウム 「非行について 考える」 怒りをコント ロールできない 子への援助	384人	総合教育 センター

2 展覧会・発表会・コンクール

番号	事 業 名	期 日	対 象	出品・発表点数	参加人数	会 場
1	第49回日本学生科学賞 栃 木 県 展 覧 会	審 査 10月5日 展 示 10月6日～9日 表彰式 10月14日	中 学 校 高等学校	中学校 10点 高等学校 8点	24人 51人	総 合 教 育 セ ン タ ー
2	高 円 宮 杯 第 57 回 全 日 本 中 学 校 英 語 弁 論 大 会 栃 木 県 大 会	審 査 } 10月4日 表彰式 }	中 学 校	36校	36人	総 合 教 育 セ ン タ ー
3	第55回全国小・中学校 作 文 コ ン ク ー ル 栃 木 県 地 方 コ ン ク ー ル	審 査 9月22日 表彰式 11月9日	小 学 校 中 学 校	小学校 566点 中学校 69点	635人	総 合 教 育 セ ン タ ー
4	第55回栃木県児童生徒 発 明 工 夫 展 覧 会	審 査 10月26日 展 示 10月28日～10月30日 表彰式 11月21日	小 学 校 中 学 校 高等学校	263点	276人	子 ど も 総 合 科 学 館
5	第59回栃木県理科研究 展 覧 会 及 び 発 表 会	地区展 1月17日～1月30日 中央展 2月9日～14日 審 査 2月9日 展 示 2月10日～12日 表彰式 2月14日	小 学 校 中 学 校 高等学校	地区展 4,042点 中央展 114点	地区展 約17,000人 中央展 約400人	各 地 区 会 場 子 ど も 総 合 科 学 館
6	第18回栃木県自作視聴覚 教 材 コ ン ク ー ル	予備審査 2月6日 本 審 査 2月21日 表 彰 式 3月14日	県民一般	社会教育部門 9点 学校教育部門 13点	50人	総 合 教 育 セ ン タ ー

3 開 放 事 業

名 称	期 日	対 象	内 容 等	参加人数
総合教育センター 開 放 事 業 『学びの杜の夏休み』	7/16	子どもと親をはじめとする県民	子どもの遊び（学習）活動の支援や、保護者をはじめ大人の教育力の向上を目的として『ふれる、つくる、考える』の3つのジャンル別に33の活動プログラムを実施した。	1,426人

4 教育研究発表大会

名 称	期 日	対 象	内 容 等	参加人数
平成17年度栃木県教育 研 究 発 表 大 会 ～伸ばそう 栃木の教育力～	1/27 ～ 1/28	小・中・県立学校教員 一般県民	県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する実践研究の成果を広く公開し、その理解と普及を図り、本県教育の充実・向上と生涯学習の振興に努めた。	約1,250人

12 内地留学生研修実施状況

1 内地留学生

前 期 4月1日～9月30日 10人			
領 域	氏 名	勤 務 校	研 究 テ ー マ
特別支援教育	田 島 智 江	日 光 市 立 大 桑 小 学 校	特別な教育的支援を必要とする児童へのチーム支援の在り方 ～チームにおける特殊学級担任の役割を考える～
特別支援教育	高 野 朋 子	大田原市立黒羽小学校	特別な教育的支援を必要とする児童の理解と支援の在り方 ～通常の学級の担任としてできること～
特別支援教育	星 野 満 代	日 光 市 立 東 中 学 校	中学校における特別支援教育の理解の促進と生徒への支援
特別支援教育	小野崎 久美子	塩 谷 町 立 玉 生 小 学 校	通常の学級における個別の支援の在り方 ～落ち着きのない子への支援を通して～
理 科	生 井 克 成	芳 賀 町 立 芳 賀 中 学 校	科学的思考力を高める理科学習指導の工夫 ～問題解決学習の過程を活かした授業の実践を通して～
教育近代化	吉 永 有 朋	益子町立益子西小学校	「図形」「量と測定」領域における教材の開発と活用法 ～数学的な考え方を育てるデジタルコンテンツの開発と指導の工夫～
教育近代化	豊 原 守	佐 野 市 立 植 野 小 学 校	情報手段としての校内ネットワークの活用 ～校内コミュニケーションサイトの開発～
生 徒 指 導	粕 谷 宏 江	さくら市立氏家中学校	別室登校している生徒への支援体制と具体的援助を考える ～心理教育的援助サービスの視点から～
生 徒 指 導	松 本 直 美	下 野 市 立 古 山 小 学 校	ソーシャルスキルを育む「広がり」と「見通し」のある教育活動の在り方 ～「気になる子ども」と「みんな」がともに育つ学級経営の視点から～
生 徒 指 導	櫻 井 明 彦	真岡市立真岡東小学校	学校での嫌な出来事をきっかけとした不登校の減少を目指して ～ストレスの視点から～

後 期 10月1日～3月31日 10人			
領 域	氏 名	勤 務 校	研 究 テ ー マ
特別支援教育	小 菅 智恵子	宇都宮市立陽東小学校	特別な教育的ニーズのある児童の支援の在り方 ～特殊学級担任としてできること～
特別支援教育	櫻 井 佳 子	真 岡 市 立 亀 山 小 学 校	通常の学級の担任による特別支援 ～教育の進め方～
特別支援教育	稲 垣 俊 弘	那須塩原市立黒磯小学校	通常学級に在籍する発達障害児童の支援 ～コミュニケーションスキルの指導を通して～
特別支援教育	中 里 保 男	那須烏山市立烏山小学校	特別な教育的支援を必要とする児童への支援の在り方 ～特別支援教育を積極的に生かすために特殊学級担任としてできること～
理 科	片 股 朗	那須塩原市立西那須野中学校	科学的な見方や考え方を養う理科指導の工夫改善 ～見えない力を見つける・表す能力の育成を目指して～
教育近代化	福 田 尊 史	下 野 市 立 吉 田 東 小 学 校	社会科地域学習における情報ネットワークの効果的な活用
教育近代化	齋 藤 幸 成	日 光 市 立 落 合 西 小 学 校	社会科地域学習教材のデジタルコンテンツ開発と指導法の研究 ～立体地図を活用したWeb教材作成とその活用法～

領 域	氏 名	勤 務 校	研 究 テ ー マ
生 徒 指 導	古 沢 誠 一	下野市立国分寺東小学校	配慮を要する児童への望ましい援助指導と支援体制の在り方
生 徒 指 導	正 津 利 江	大田原市立両郷中央小学校	一人一人の中に自信を持たせるための支援方法
教育近代化	渡 部 泰 守	栃木県立小山南高等学校	デジタルポートフォリオによる教科 「情報」の授業設計と進め方

2 内地留学生研修内容

期 日		研 修 内 容	備 考
前 期	後 期		
4月4日	10月3日	開講式 オリエンテーション	内地留学生全員
4月5日	10月4日	共通研修 教員としての資質を高める研修 一般研修 各教科・各領域の必要な内容の研修	一斉に全員
4月22日	10月21日		各教科・領域ごとに全員
4月25日 9月20日	10月24日 3月21日	専門研修 研究テーマに即した研修	各教科・領域ごとに全員
9月15日	3月15日	内地留学成果発表	内地留学生全員
9月21日	3月22日	閉講式	内地留学生全員

13 とちぎ県民カレッジの概況

(1) とちぎ県民カレッジ懇談会（県民カレッジに関する意見聴取 1回開催）

(2) とちぎ県民カレッジ連携機関担当者研修会

（県民カレッジ連携講座実施機関及び市町村の講座担当者を対象とした研修会 1回開催）

(3) 講座開催

① 主催講座 660名

とちぎ学コース		くらしと社会コース	
1	科学セミナー 「『科学技術の今』－知ってびっくり使って便利－」	1	国際理解セミナー【夜間】 「『シルクロード』の民族と文化」
2	歴史セミナー 「下野の仏像と仏画」	2	美術セミナー 「『日本の美術』－古代から近代まで－」
地域学びかがやきコース		3	安全／安心の暮らしセミナー【夜間】 「『安全』－あなたの安心を守るために－」
1	地域学セミナー 「歴史のロマンと懐かしさに出会う街『とちぎ』 －地域の宝とまちづくり－」		

② 連携講座（実施機関・講座数）80機関 ————— 747講座

ア 受講者 約78,396人

イ 機関内訳 県関係機関（56機関）————— 462講座

各市町村（9市町村）————— 164講座

大学等（15大学等）————— 121講座

ウ コース別講座数（内訳）

・健康スポーツコース 74講座

・能力・自己開発コース 239講座

・文化教養コース 295講座

・郷土理解コース 79講座

・地域活動コース 60講座

(4) 学習相談・学習情報提供

① 学習相談 ————— 県民カレッジ事務局、とちぎ生涯学習文化財団、学習情報センター

② 学習情報提供 — 広報資料の作成、各種広報媒体の活用、市町村の広報

(5) 学習歴累積・学習活動の奨励

① 学習のあゆみ手帳およびガイドの配布

② 記録シールの配布

③ 学習歴累積希望登録者（H18.3現在1,309名）

④ 奨励証交付者（H18.3現在 300単位 5名、200単位 18名、100単位 61名）

⑤ 学習ボランティアセンターの広報、各種講座情報誌の配布

14 講師一覧

所 属	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
栃木県カウンセリングセンター	日野 宜千	電話相談員全体研修会	電話相談員全体研修会	4月9日
常 磐 大 学 教 授	坂本 登	生涯学習関係答申等からみる生涯学習推進の動向	生涯学習推進初任者研修	4月27日
足 利 銀 行	林 泉	接遇	初任者研修（県立）	4月28日
宇 都 宮 大 学	遠藤 忠	今、学校に求められるもの	新任教頭研修（小・中・県立学校）	5月6日
宇都宮大学教育学部附属小学校	鈴木 葉子	学習指導(3)	初任者研修（小・中学校）	5月10日
宇都宮大学教育学部附属中学校	戸田 淳子	児童・生徒指導(2)	初任者研修（小・中学校）	5月10日
宇都宮大学教育学部附属小学校	新村 幸江	学習指導(3)	初任者研修（小・中学校）	5月10日
(有)関東エイ・ヴィセンター	鳥居 一之	16ミリ映写機の構造・操作等	16ミリ映写機技術指導者研修	5月11日
教育カウンセリング研究所	金子 賢	電話相談グループ研修会	電話相談グループ研修会	5月13日
宇都宮大学教育学部附属中学校	戸田 淳子	技術・家庭科教育の指導内容と指導上の留意事項	新任免外教科担任研修（中学校）	5月13日
東 京 大 学 大 学 院	秋田喜代美	幼児期に育てたい判断力	幼・保・小教員合同研修会	5月17日
聖 徳 大 学	福留 強	これからの市町村の役割と生涯学習の展望	生涯学習推進初任者研修	5月18日
渋 川 小 児 科 医 院	渋川 典子	電話相談グループ研修会	電話相談グループ研修会	5月21日
宇 都 宮 家 庭 裁 判 所	池沢 武光	関係機関との連携	新任生徒指導主事研修（県立）	5月23日
(株) 君 島 薬 局	君島 正	学校環境・衛生活動における諸検査	新規採用養護教員研修（小・中学校）	5月23日
国 立 教 育 政 策 研 究 所	岩崎久美子	おとなの学びを考える	生涯学習推進セミナー	5月25日
こ こ ろ み 学 園	越知眞智子	福祉教育の理解	初任者研修（県立学校）	5月26日
宇 都 宮 大 学	中村 清	20年目教職員への期待	教職20年目教員研修（小・中・県立学校）	6月2日
カウ ン セ リ ン グ グ ル ー ム プ リ メ イ ラ	巖岩 奈々	電話相談員全体研修会	電話相談員全体研修会	6月4日
大 平 町 教 育 委 員 会	平野 宏之	本県の人権教育のあり方	人権教育指導者専門研修	6月6日
茨 城 大 学 大 学 院	菅沼 憲治	人権教育の視点	人権教育指導者専門研修	6月6日
山 梨 大 学	榊原 禎宏	学校経営ビジョンの実現に向けて	新任校長研修（小・中学校）	6月7日
筑 波 大 学	田上不二夫	今日における学校教育相談の役割	学校教育相談専門研修	6月9日
茨 城 大 学	東條 吉邦	高機能自閉症等のある子どもの理解と支援	特別支援コーディネーター研修	6月9日
産業能率大学総合研究所	浅野 良一	学校における組織マネジメント	学校経営研修(県立学校)	6月10日
部 落 解 放 愛 す る 会 栃 木 県 連 合 会	田中 重蔵	「差別解消への道」・体験発表	人権教育指導者専門研修	6月13日
(財) 日 本 進 路 指 導 協 会	片柳 實	進路指導の意義と進路指導主事の職務	新任進路指導主事研修（中学校）	6月14日
白 鷗 大 学	柳川 高行	自分らしく生きる	女性教育指導者研修	6月15日
部 落 解 放 愛 す る 会 栃 木 県 連 合 会	田中 重蔵	「差別解消への道」・体験発表	人権教育指導者専門研修	6月16日

所 属	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
帝 京 大 学	佐藤 晴雄	学校経営に果たす役割と責任	新任事務長研修（小・中学校）	6月16日
東 京 学 芸 大 学	小林 正幸	不登校について	学校教育相談実践研修Ⅰ（事例研究）	6月17日
宇 都 宮 大 学	藤井佐知子	信頼される学校づくりと教員の資質向上	校長研修（県立学校）	6月17日
藍 生 俳 句 会	黒田 杏子	「俳句列島日本すみずみ吟遊」を重ねて	県民カレッジ開講式	6月18日
宇 都 宮 大 学	梅永 雄二	自閉症児の指導	自閉症児の指導内容・方法等の在り方に関する調査研究	6月20日
東 京 聖 栄 大 学	岡田 弘	学級で生かす構成的グループ・エンカウンター	学校教育相談実践研修Ⅲ（授業と学級経営）	6月20日
宇 都 宮 大 学	大石 敬子	LDのある子どもの理解と支援	特別支援教育コーディネーター研修	6月21日
宇 都 宮 大 学	山本 誠一	子どもの成長と理解の視点	学校教育相談基礎研修	6月21日
宇都宮大学教育学部附属小学校	鈴木 葉子	各教科等の指導(2)	教職5年目研修（小・中学校）	6月21日
文 教 大 学	野島 正也	生涯学習とボランティア	生涯学習ボランティアコーディネートセミナー	6月23日
宇都宮市民活動サポートセンター	安藤 正知	ボランティアコーディネーターの実際	生涯学習ボランティアコーディネートセミナー	6月23日
東 京 電 力(株) 栃 木 北 支 社	猪瀬 直子	これからの教員評価の方向性	トップセミナー（小・中学校）	6月24日
栃 木 県 三 曲 協 会	前原 鳳童	和楽器に挑戦	土曜開放講座	6月25日
東 京 電 力(株) 栃 木 北 支 社	猪瀬 直子	組織の活性化と人材開発	トップセミナー研修（小・中学校）	6月27日
部落解放同盟栃木県連合会	和田 献一	「差別解消への道」・体験発表	人権教育指導者専門研修	6月28日
部落解放同盟栃木県連合会	戸田 眞	「差別解消への道」・体験発表	人権教育指導者専門研修	6月28日
茨城県福祉相談センター	大野 真裕	TEACCHプログラムによる指導(1)	自閉症教育推進者研修	6月28日
独立行政法人国立特殊教育総合研究所	大杉 成喜	組織・チームでの問題解決の進め方	地域特別支援教育推進者研修	6月30日
E L E C 英 語 研 修 所	ニール・ファラリー	My teaching pian, My teaching style	英語教員研修（中・県立学校）	7月1日
E L E C 英 語 研 修 所	バメラ・ビショップ	My teaching pian, My teaching style	英語教員研修（中・県立学校）	7月1日
E L E C 英 語 研 修 所	トーマス・オー・ケリー	My teaching pian, My teaching style	英語教員研修（中・県立学校）	7月1日
E L E C 英 語 研 修 所	マルコム・ペアレント	My teaching pian, My teaching style	英語教員研修（中・県立学校）	7月1日
帝 京 大 学	佐野 正之	アクション・リサーチのすすめ	英語教員研修（中・県立学校）	7月1日
E L E C 英 語 研 修 所	アンドリュー・ゴールディー	My teaching pian, My teaching style	英語教員研修（中・県立学校）	7月1日
E L E C 英 語 研 修 所	ヨランダ・マクリーン	My teaching pian, My teaching style	英語教員研修（中・県立学校）	7月1日
国 立 教 育 政 策 研 究 所	滝 充	学校教育相談を生かした学校経営	学校経営研修（小・中学校）	7月4日
自 治 医 科 大 学	塩川 宏郷	ADHDのある子どもの理解と支援	特別支援教育コーディネーター研修	7月8日
鹿沼市学校給食共同調理場	佐藤 孝典	共同調理場の管理・運営	学校栄養職員5年目職員研修	7月8日
教育カウンセリング研究所	金子 賢	電話相談員グループ研修会	電話相談員グループ研修会	7月8日
立 教 大 学	田中 治彦	子どもの居場所	生涯学習ボランティアコーディネートセミナー	7月8日

所 属	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
今 市 市 教 育 委 員 会	手塚 菊江	外部機関（医療・保健・福祉・教育委員会等）との連携・協力	特別支援教育コーディネーター研修	7月8日
関 東 学 院 中 ・ 高 等 学 校	橋本 幸晴	カウンセリング演習1・2	学校教育相談専門研修	7月8日
栃木県女性教育推進連絡協議会	中山慶恵子	女性教育団体活動の実際	女性教育指導者研修	7月13日
栃木県メディアボランティア	小谷野和哉	インターネットからの情報収集	女性教育指導者研修	7月20日
一級建築士事務所HAYANO	早野由美恵	女性の視点でのまちづくり	女性教育指導者研修	7月20日
部落解放同盟栃木県連合会	和田 献一	差別解消への道	人権教育指導者専門研修	7月21日
部落解放同盟栃木県連合会	戸田 眞	差別解消への道・体験発表	人権教育指導者専門研修	7月21日
県 社 会 福 祉 協 議 会	桧原 賢一	ボランティアに関する支援	生涯学習ボランティアコーディネートセミナー	7月22日
NPO法人栃木県シニアセンター	荒川 恒昭	ボランティアの輪を広げよう 事例研修	生涯学習ボランティアコーディネートセミナー	7月22日
NPO法人鹿沼ファミリー劇場	加藤美奈子	ボランティアの輪を広げよう 事例発表	生涯学習ボランティアコーディネートセミナー	7月22日
(株)あしぎん事務センター	島田 徳子	接遇	初任者研修（小・中学校）	7月22日
渋 川 小 児 科 医 院	渋川 典子	電話相談員グループ研修会	電話相談員グループ研修会	7月23日
大 妻 女 子 大 学	ティモシー・ライト・ジョセフ	Oral Interpretation I・II	英語教員研修（中・県立学校）	7月25日
国 際 基 督 教 大 学	クリストファー・ペイン	Presentation Skill Development I・II	英語教員研修（中・県立学校）	7月25日
白 鷗 大 学	ジェフリー・C・ミラー	Classroom Methods I・II	英語教員研修（中・県立学校）	7月25日
E L E C 英 語 研 修 所	レイチェル・パレット	English Seminar I・II	英語教員研修（中・県立学校）	7月25日
E L E C 英 語 研 修 所	エリック・ホップス	English Seminar I・II	英語教員研修（中・県立学校）	7月25日
E L E C 英 語 研 修 所	アリソン・マッケンジー	English Seminar I・II	英語教員研修（中・県立学校）	7月25日
心 理 ・ サ ポ ー ト 水 戸	打越 実	TEACCHプログラムによる指導(2)	自閉症教育推進者研修	7月27日
森 山 産 業 (株)	仲澤 佳子	活躍する女性リーダー	女性教育指導者研修	7月27日
武 南 高 等 学 校	吉田 隆江	学級・ホームルームにおける人間関係づくり	教職10年目研修（県立学校）	7月29日
埼 玉 大 学 教 育 学 部	澤崎 俊之	コミュニケーション能力の向上	教職10年目研修（県立学校）	7月29日
埼 玉 県 立 小 川 高 等 学 校	新井 肇	問題行動への対応	教職10年目研修（県立学校）	7月29日
筑 波 大 学	園山 繁樹	高機能自閉症・AD/HD児の理解と援助	特別支援教育研修(A)	8月1日
	高成田智子	カウンセリング演習	学校教育相談実践研修Ⅱ	8月1日
宇 都 宮 大 学	京林由季子	障害幼児の支援のためのアセスメント	特別支援教育研修(A)	8月1日
関 東 学 院 中 ・ 高 等 学 校	橋本 幸晴	カウンセリング演習	学校教育相談実践研修Ⅱ	8月1日
上 越 教 育 大 学	土谷 良巳	見ることを支援する	自立活動研修Ⅰ（見ること）	8月1日
平 和 眼 科	釣井ひとみ	見ることを支援する	自立活動研修Ⅰ（見ること）	8月1日
(財) 栃 木 県 学 校 給 食 会	田口 郁子	食中毒の予防(1)(2)	新規採用学校栄養職員研修（小・中学校）	8月2日

所 属	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
財 栃 木 県 学 校 給 食 会	渡 辺 恒 明	細菌検査(1)(2)	新規採用学校栄養職員研修(小・中学校)	8月2日
立 教 大 学	田 中 深 雪	通訳訓練法	英語教員研修(中・県立学校)	8月3日
ちいきねっとわーくせんたー「ご え も ん」	橋 本 隆 男	シンポジウム「広がれボランティアの輪!元気な地域をつくろう」	生涯学習ボランティア実践フォーラム	8月3日
NPO法人 足利水土里探偵団	中 庭 三 夫	シンポジウム「広がれボランティアの輪!元気な地域をつくろう」	生涯学習ボランティア実践フォーラム	8月3日
小 山 市 立 中 央 公 民 館	永 井 一 己	シンポジウム「広がれボランティアの輪!元気な地域をつくろう」	生涯学習ボランティア実践フォーラム	8月3日
国 際 基 督 教 大 学	渡 辺 敦 子	How to Motivate Learners	英語教員研修(中・県立学校)	8月3日
国 際 基 督 教 大 学	深 尾 暁 子	How to Motivate Learners	英語教員研修(中・県立学校)	8月3日
千 葉 大 学	西 垣 知 佳 子	リスニングの指導法Ⅰ・Ⅱ	英語教員研修(中・県立学校)	8月3日
山 梨 大 学	田 中 武 夫	自己表現活動を取り入れた英語授業	英語教員研修(中・県立学校)	8月3日
松 香 フォ ニ ッ ク ス 研 究 所	川 崎 眞 理 子	英語で英語を教える指導・フォニックスの指導法	英語教員研修(中・県立学校)	8月3日
神 田 外 語 大 学	小 野 田 榮	リスニングの指導法・ライティングの指導法	英語教員研修(中・県立学校)	8月3日
多 摩 相 談 活 動 研 究 所	森 田 光 子	健康相談活動における教職員の共通理解と連携の在り方	養護教員10年目研修	8月4日
津 田 塾 大 学	田 近 裕 子	リーディングの指導法	英語教員研修(中・県立学校)	8月4日
千 葉 大 学	大 井 恭 子	ライティングの指導方法	英語教員研修(中・県立学校)	8月4日
新 潟 大 学	松 沢 伸 二	評価について	英語教員研修(県立学校)	8月8日
福 島 大 学	佐 久 間 康 之	音読のバリエーション	英語教員研修(県立学校)	8月8日
宇 都 宮 大 学	藤 井 佐 知 子	学校の管理運営と学校事務職員の役割	事務職員10年目研修(小・中学校)	8月8日
東京都立あきる野学園養護学校	原 智 彦	今後の職業教育の在り方	職業教育推進者研修	8月8日
作新学院大学女子短期大学部	伊 達 悦 子	発達心理学講座	幼稚園教職10年経験者研修	8月11日
那 須 塩 原 市 教 育 委 員 会	岩 間 寛 行	非行について考える	教育相談特別講座	8月12日
宇 都 宮 大 学	和 唐 正 勝	健康の保持増進と健康教育	養護教員5・10年目研修	8月12日
東 京 学 芸 大 学	大 河 原 美 以	怒りをコントロールできない子への援助	教育相談特別講座	8月12日
マ ・ メ ゾ ン 光 星	三 浦 敏 朗	福祉教育の理解	初任者研修(小・中学校)	8月17日
宇 都 宮 市 立 陽 東 小 学 校 支 援 ボ ラ ン テ ィ ア	今 井 智 子	学校と地域の連携事例から学ぶ	生涯学習推進セミナー	8月25日
阿久津中学校支援ボランティア	志 渡 博 子	学校と地域の連携事例から学ぶ	生涯学習推進セミナー	8月25日
筑 波 大 学	佐 島 毅	盲学校のセンター的機能の開発	盲学校のセンター的機能の充実に関する調査研究	8月30日
宇 都 宮 短 期 大 学	石 川 由 美 子	心理検査の理解と活用	特別支援教育コーディネーター研修	9月5日
関 東 学 院 中 ・ 高 等 学 校	橋 本 幸 晴	カウンセリング演習	学校教育相談専門研修	9月5日
宇 都 宮 大 学	青 柳 宏	授業と教育相談	学校教育相談実践研修Ⅲ	9月6日
教育カウンセリング研究所	金 子 賢	子どもへの対応としての応答訓練	電話相談員グループ研修会	9月9日

所 属	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
カウ ン セ リ ン グ ル ー ム プ リ メ イ ラ	髙岩 奈々	問題行動の理解と対応	学校教育相談基礎研修	9月9日
渋 川 小 児 科 医 院	渋川 典子	子どもの発達や子育てについて	電話相談員グループ研修会	9月10日
作新学院大学女子短期大学部	加藤千佐子	家庭教育に求められるもの	家庭教育オピニオンリー ダー研修	9月21日
慶 應 義 塾 大 学	伊藤美奈子	問題行動の理解と対応(2) ー子どもの気持ちを考える	学校教育相談実践研修Ⅰ (事例研修)	9月22日
(有)タガ・グラフィックス	山崎 和幸	マルチメディアWeb教材作成の意 義とその効果的な使用方法	情報教育(教材作成応用) 研修	9月22日
ちいさねっとわーくせんたー 「ご え も ん」	橋本 隆男	興味を引き出すプログラムとは	青少年地域リーダーセミ ナー	9月24日
向島リハビリクリニックセンター	金田 正樹	共に生きる社会づくりをめざして	人権教育指導者専門研修	9月26日
作 新 学 院 大 学	手塚 光善	思春期の子どもの心理や行動について	電話相談員グループ研修会	9月28日
山 形 県 立 保 健 医 療 大 学	福田恵美子	感覚統合理論による指導の実際	自立活動研修 (からだの 動き)	9月29日
大原簿記医療秘書専門学校	田中 高司	新会計基準への対応	産業教育専門研修 (商業 科)	9月30日
東 京 大 学	森 俊夫	コンサルテーションの考え方・進め方	学校教育相談専門研修	9月30日
自 治 医 科 大 学	高村 寿子	思春期のヘルスプロモーション	電話相談員全体研修会	10月1日
筑 波 大 学	福田 弘	学校における人権教育の在り方	人権教育研修	10月3日
栃 木 県 教 育 研 究 所	丸山 隆	思春期の子どもたち	家庭教育オピニオンリー ダー研修	10月3日
宇 都 宮 大 学	廣瀬 隆人	学年主任のリーダーシップ	新任学年主任研修 (県立 学校)	10月4日
自 治 医 科 大 学	塩川 宏郷	問題行動の理解と対応(3) 発達障害について	学校教育相談実践研修Ⅰ (事例研修)	10月13日
上 越 教 育 大 学	三村 隆男	これからの進路指導	新任進路指導主事研修 (県立学校)	10月14日
塾 学 校 図 書 館 協 議 会	浅井 昭治	これからの学校図書館の在り方	学校図書館研修 (小・中 学校)	10月17日
宇 都 宮 本 の 会	瀬下 静子	読み聞かせ講座	学校図書館研修 (小・中 学校)	10月17日
鹿沼図書館ボランティア協会	佐々木久美子	本の補修講座	学校図書館研修 (小・中 学校)	10月17日
鹿沼図書館ボランティア協会	大貫かおる	ブックトーク講座	学校図書館研修 (小・中 学校)	10月17日
東 京 学 芸 大 学	天道佐津子	これからの学校図書館と司書教諭の 果たす役割	学校図書館研修 (県立学 校)	10月17日
都 立 新 宿 山 吹 高 校	中原 道高	学校図書館の情報化	学校図書館研修 (県立学 校)	10月17日
広 島 大 学	松浦 伸和	新しい評価方法	英語教員研修 (中学校)	10月17日
獨 協 医 科 大 学	崎尾 秀彰	救急処理 (心肺蘇生法を中心に)	新規採用養護教員研修 (小・中・県立学校)	10月20日
女 子 栄 養 大 学	鎌田 尚子	学校保健計画の作成について	新規採用養護教員研修 (小・中・県立学校)	10月20日
宇都宮大学教育学部附属小学校	金子 渉	語ろう、国語教室の実際Ⅰ	土曜開放講座	10月22日
宇 都 宮 大 学	酒井 一博	魅力ある数学科授業の創造	土曜開放講座	10月22日
宇都宮大学教育学部附属中学校	新村 幸江	各教科等の指導(3)	教職5年目研修 (小・中 学校)	10月24日
都 留 文 科 大 学	河村 茂雄	学級経営と教育相談、学級経営に生 かす診断尺度	学校教育相談実践研修Ⅲ	10月25日

所 属	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
(株)シーアンドピーインコーポレート	渡辺トシコ	フードデザインとテーブルコーディネート	産業教育専門研修（家庭科）	10月25日
(有)タガ・グラフィックス	山崎 和幸	マルチメディアWeb教材の作成(2)	情報教育(教材作成応用)研修	10月31日
宇 都 宮 大 学	青柳 宏	これからの学習指導の在り方	学習指導主任研修（小・中学校）	10月31日
宇 都 宮 大 学	青柳 宏	これからの学習指導の在り方	新任学習指導主任研修（県立学校）	11月 1 日
富 山 大 学	新里 眞男	コミュニケーションとは	英語教員研修（中・県立学校）	11月 4 日
労 働 大 学 校	下村 英雄	児童生徒のキャリア発達を促す指導と評価	中高連携を図るキャリア教育の推進に関する調査研究	11月 4 日
群 馬 大 学	下田 博次	青少年のインターネット・携帯電話等の利用について	情報モラル指導者研修	11月 8 日
ね ち ず ん 村	下田 毬子	青少年のインターネット・携帯電話等の利用について	情報モラル指導者研修	11月 8 日
作 新 学 院 大 学	手塚 光善	思春期の子どもの心理や行動について	電話相談員グループ研修会	11月 9 日
國學院大學栃木短期大学	正木 孝昌	活動する子どもたちと算数の授業	土曜開放講座	11月12日
上 智 大 学	中野 良顕	いじめと不登校について	学校教育相談実践研修Ⅲ	11月14日
宇都宮大学教育学部附属中学校	戸田 淳子	学習指導(9)	初任者研修（小・中学校）	11月15日
子どもの城小児クリニック	巷野 悟郎	幼児期の特別支援教育を考える	トップセミナー	11月15日
白 梅 学 園 大 学	無藤 隆	保育者の専門性と同僚性を育む園経営	トップセミナー	11月15日
白 鷗 大 学	児玉 博昭	広域的な生涯学習機械提供の在り方をさぐる	とちぎ県民カレッジ担当者研修会	11月16日
秋 田 大 学	原 義彦	社会教育事業評価	生涯学習推進セミナー・地域教育支援コース	11月17日
筑 波 大 学	石隈 利紀	学校におけるコーディネーションとチーム援助	特別支援教育コーディネーター研修学校教育専門研修	11月17日
(有)タガ・グラフィックス	山崎 和幸	マルチメディアWeb教材の作成(3)	情報教育(教材作成応用)研修	11月18日
教育カウンセリング研究所	金子 賢	子どもへの対応としての応答訓練	電話相談員グループ研修会	11月18日
東 京 大 学	森 俊夫	問題行動の理解と対応(4) 児童期青年期の精神病理	学校教育相談実践研修Ⅰ（事例研修）	11月21日
国 立 教 育 施 策 研 究 所	木岡 一明	学校における組織マネジメントの活用	学校経営研修（小・中学校）	11月21日
東 京 ガ ス (株)	田辺 勇治	ミドルリーダーに求められるもの	教職20年目研修（県立学校）	11月22日
目 白 大 学	沢崎 達夫	学級で生かすアサーション・トレーニング	学校教育相談実践研修Ⅰ	11月24日
特定非営利活動法人教育支援協会	吉田 博彦	子どもを守る情報モラルのあり方	情報モラル指導者研修	11月25日
東 京 経 営 短 期 大 学	玉田 和恵	ネット利用のルールとモラル	情報モラル指導者研修	11月25日
宇 都 宮 大 学	梅永 雄二	自閉症児のコミュニケーション指導	自閉症児の指導内容・方法等の在り方に関する調査研究	11月25日
渋 川 小 児 科 医 院	渋川 典子	子どもの発達や子育てについて	電話相談員グループ研修会	11月26日
栃 木 県 教 育 研 究 所	丸山 隆	今、教員に求められるもの	教職 5 年目研修（県立学校）	11月28日
宇 都 宮 大 学	松本 敏	今、教員に求められるもの	教職 5 年目研修（小・中学校）	11月28日
自 治 医 科 大 学	大河原重雄	人体について	内地留学所外研修	11月29日

所 属	氏 名	講 話 の テ ー マ	研 修 事 業 名	研修日
作新学院大学女子短期大学部	青木 章彦	新しい環境教育の展開	環境教育研修（小・中・県立学校）	11月29日
山 形 県 立 保 健 医 療 大 学	川崎佳代子	子育ては今、その現状と課題	家庭教育オピニオンリーダー研修	11月30日
山 形 県 立 保 健 医 療 大 学	福田恵美子	感覚統合理論による指導の実際	自立活動研修2	12月1日
五 味 潤 整 形 外 科 医 院	五味潤諒一	児童生徒の注意すべき疾病異常の管理と指導－整形外科－	新規採用養護教員研修（小・中・県立学校）	12月2日
菊 地 歯 科 医 院	菊地 英世	児童生徒の注意すべき疾病異常の管理と指導－歯科－	新規採用養護教員研修（小・中・県立学校）	12月2日
国 立 き ん 川 学 院	板垣 辰彦	問題行動の理解と対応－非行について－	学校教育相談実践研修Ⅰ（事例研究）	12月5日
上 智 大 学	奈須 正裕	授業と学級経営	学校教育相談実践研修Ⅲ（授業と学級経営）	12月9日
宇 都 宮 地 方 裁 判 所	野口 佳子	裁判員制度	土曜開放講座	12月10日
新座子育てネットワーク	坂本 純子	家庭教育支援の新たな広がり	家庭教育オピニオンリーダー研修	12月13日
都 留 文 科 大 学	河村 茂雄	今、教員に求められるもの	教職10年目研修（県立学校）	1月5日
宇 都 宮 大 学	松本 敏	今、教員に求められるもの	教職10年目研修（小・中学校）	1月6日
茨 城 大 学	長谷川幸介	新たな社会教育の創造－これからの社会教育主事の役割－	社会教育主事等実践フォーラム	1月12日
宇 都 宮 大 学	廣瀬 隆人	新たな社会教育の創造－これからの社会教育主事の役割－	社会教育主事等実践フォーラム	1月12日
栃木県立美術館前館長	坂入 三男	家族はどこへ	家庭教育オピニオンリーダー研修	1月23日
(有) オ ク ト	広澤 克実	これからの教員に期待すること	初任者研修（県立）	1月26日
宇 都 宮 大 学	渡辺 弘	これからの教育を考える	初任者研修（小・中）	1月31日
LD等軽度発達障害児者親の会	鶴見恵津子	学校と保護者との連携・協力	地域特別支援教育推進者研修	2月10日
上 越 教 育 大 学	木村 吉彦	幼児期から学童期における学びの連続性	幼・保・小教職員合同研修	2月14日
常 磐 大 学	吉永 宏	ボランティア活動の充実・発展のために	生涯学習ボランティア活動交流会	2月26日
(株)市川ソフトラボラリー	横山 崇	マルチメディア素材の加工	情報教育(教材作成基礎)研修	7月11日
(株)市川ソフトラボラリー	酒井 教	マルチメディア素材の加工	情報教育(教材作成基礎)研修	7月11日

平成17年度

所 報

栃木県総合教育センター

〒320-0002

宇都宮市瓦谷町1070番地

TEL 028-665-7200

FAX 028-665-7217

<http://www.tochigi-c.ed.jp>

とちぎレインボーネット（栃木県学習情報提供システム）

<http://www.rainbow-net.pref.tochigi.jp>

幼児教育センターホームページ

<http://www.tochigi-c.ed.jp/youji/>

カリキュラムセンターホームページ

<http://www.tochigi-c.ed.jp/curriculum/>

